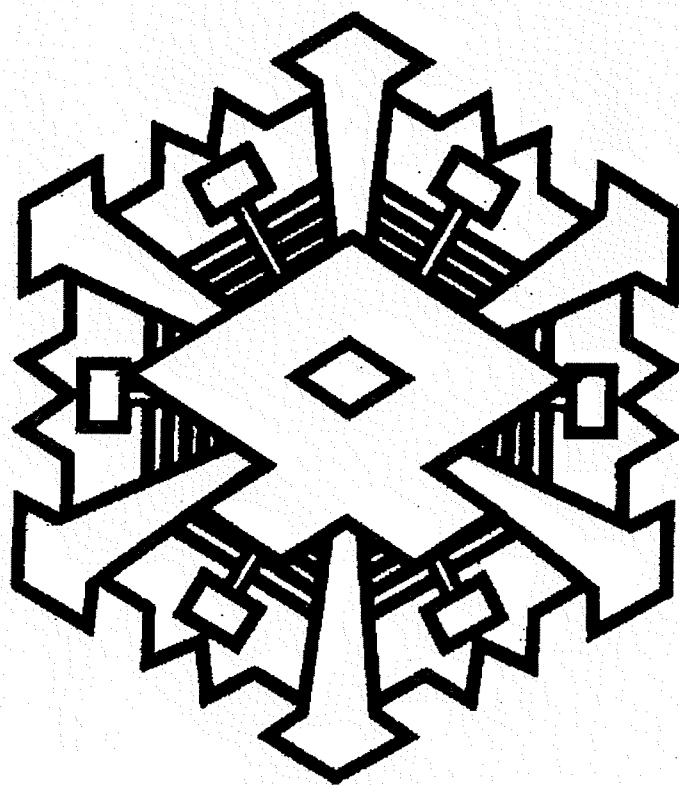


消 防 年 報

令和 6 年度版



多度津町消防本部

令和 7 年刊行

はしがき

1. この年報は、令和6年中の本町の諸資料を集録して現勢を明らかにし、将来の参考にするため編成したものです。
2. この統計中、予算関係事項については会計年度とし、その他の事項について、特に年月日を記載していないものは、すべて暦年といたしました。

多度津町消防本部

目次

1 概況・・・・・・・・・・・・・・・・	1	4 消防水利状況・・・・・・・・・・	48
2 町民憲章・・・・・・・・・・	1	5 気象情報発令状況・・・・・・・・	49
3 消防の沿革・・・・・・・・・・	2	6 消防団機械配置状況・・・・・・・・	50
4 位置及び地勢・・・・・・・・・・	14		
5 世帯と人口・・・・・・・・・・	15	救 急	
6 消防庁舎の現況・・・・・・・・	15	1 救急法指導状況・・・・・・・・・・	51
7 消防の組織・・・・・・・・・・	15	2 救急資器材・・・・・・・・・・	52
8 消防の分布図・・・・・・・・・・	16	3 月別救急出動状況グラフ・・・・・	55
9 消防事務(業務)分掌表・・・・・	17	4 月別救急発生状況・・・・・・・・	56
総 務		5 時間別救急出動状況グラフ・・・・・	57
1 消防予算・・・・・・・・・・	19	6 曜日別救急出動状況グラフ・・・・・	57
2 消防施設整備費国庫補助事業一覧表・・・・・	20	7 年齢別・性別搬送状況グラフ・・・・・	58
3 消防施設整備費県補助事業一覧表・・・・・	22	8 月別・性別救急搬送状況グラフ・・・・・	58
4 地域総合整備事業(防災まちづくり事業)一覧表・・・・・	24	9 市町村別収容状況(搬送人員)・・・・・	59
5 歴代消防長・署長・団長・・・・・・・・	25	10 被収容者住居別救護状況(搬送人員)・・・・・	59
6 消防職員に対する人口世帯数割・・・・・・・・	26	11 年別救急出動状況グラフ・・・・・	60
7 消防職員定数及び実員配置状況・・・・・・・・	26	12 病院紹介・・・・・・・・・・	60
8 消防職員勤続年数一覧表・・・・・・・・	27	13 傷病程度別搬送人員・・・・・・・・	61
9 消防職員階級別年令一覧表・・・・・・・・	28	14 病院収容時間別搬送人員(覚知～収容)・・・・・	61
10 消防職員居住状況・・・・・・・・・・	29	15 救急資料・・・・・・・・・・	62
11 消防職員特殊技能資格取得状況・・・・・・・・	29	16 救助活動状況・・・・・・・・・・	63
12 消防団員定数及び実員・・・・・・・・	30	17 救助事故発生場所状況・・・・・・・・	63
13 消防団員在職年数状況・・・・・・・・	30	火災統計	
14 消防団員報酬及び手当一覧表・・・・・・・・	30	1 火災状況・・・・・・・・・・	64
15 消防団編成表・・・・・・・・・・	31	2 年別火災状況・・・・・・・・・・	64
16 消防相互応援協定等の状況・・・・・・・・	31	3 月別火災状況・・・・・・・・・・	65
予 防		4 原因別火災状況・・・・・・・・・・	66
1 地区別防火対象物一覧表・・・・・・・・	32	5 損害別火災状況・・・・・・・・・・	66
2 防火対象物と防火管理者・・・・・・・・	33	6 曜日別火災状況・・・・・・・・・・	67
3 中高層建築物用途別棟数調・・・・・・・・	34	7 曜日別火災状況グラフ・・・・・	67
4 各種届出状況・・・・・・・・・・	35	8 風速別火災状況・・・・・・・・・・	68
5 年次別建築同意事務処理状況・・・・・・・・	35	9 風速月別火災状況グラフ・・・・・	68
6 用途別建築同意事務処理状況・・・・・・・・	36	10 四季別火災状況(過去10年)・・・・・	69
7 月別建築同意事務・処理状況・・・・・・・・	37	11 四季別火災状況グラフ・・・・・	69
8 地区別・年別建築確認申請同意状況グラフ・・・・・	38	12 出火原因別(発火源・経過・着火物)火災発生状況	70
9 危険物関係施設数及び事務処理状況・・・・・・・・	38	13 年別火災状況グラフ・・・・・・・・	70
10 種別・倍数別危険物施設数(第4類)・・・・・	39	14 時間別火災状況・・・・・・・・・・	71
11 消防関係手数料徴収状況・・・・・・・・	40	15 時間別火災状況グラフ・・・・・	71
警 防		16 分団区域別火災状況・・・・・・・・	72
1 消防機械器具等・・・・・・・・	41	17 年別・分団別火災状況・・・・・・・・	72
2 通信系統図・・・・・・・・・・	43		
3 無線施設一覧表・・・・・・・・・・	45		

1. 概 況

近年、我が国でも大規模災害が多発し、防災に対する関心が一段と高まるにつれ、消防によせる住民の期待は非常に大きなものとなっています。一方、消防をとりまく環境は、都市構造の変化や生活様式の改善に伴い、複雑多様化、かつ大規模化の傾向にあります。また救急業務においては高齢化社会等を背景に増加傾向にあり、より高度な救急業務体制の確立に努める必要があります。このように非常に厳しい環境の中で、今後、消防防災活動に対する地域住民の期待の高まりに対応するため、従来にも増して消防力の質の向上とその整備、充実に効果的に行うことが必要となっています。施設装備の充実強化はむろんのこと、職員に対してはより高度な知識、技能の習得を図るとともに、地元消防団をはじめ県内各消防本部や警察などの関係機関との連携を一層深め、「災害に強い安全で住みよい町」の実現に向けてさらなる努力を続けています。

2. 町民憲章

多度津町民憲章

(制定 昭和52年12月22日)

私たちは、山と海が美しく活気あふれる多度津町の町民であることに喜びを感じ誇りを抱いております。

私たちは、この郷土を限りなく愛し、大いに発展させるため、この憲章を定め、力を合わせて住みよい町づくりに努めます。

1. いつも身体と心を鍛え健康な町を作りましょう。
1. つねに決まりと秩序を守り安全な町にいたしましょう。
1. 互いに助け励ましあって奉仕の町を育てましょう。
1. 進んで教養と文化を高め伝統の町を築きましょう。
1. 明るい家庭と職場を持って、希望の町を目ざしましょう。

健康都市宣言

(制定 昭和55年 8月 4日)

1. すべての町民があらゆる活動を通じて健康の増進に努めましょう。
2. 家庭にも、地域にも、職場にもスポーツやレクリエーションの場を作りましょう。
3. 保健衛生の意識を高め、日常生活に創意を加え健康な家庭や地域を作りましょう。

環境のまち宣言

(制定 平成12年11月 5日)

私たちのまち多度津町は、風光明媚な瀬戸内海や緑豊かな讃岐平野などの自然に恵まれた環境に支えられ発展をするなかで、健康で文化的な生活を築きあげてきました。

しかし、近年、社会経済活動や生活様式の変化に伴って、様々な環境に及ぼす影響が出てきており、私たちはこのかけがえのない自然を守っていかなければなりません。

この恵み豊かな環境は、私たち多度津町民共有の財産であり、これを21世紀へ引き継いでいかなければならない責務があります。

私たちは、毎日の生活が環境に影響を与えていることを深く認識し人と自然が共生できる調和のとれた生活環境をつくりあげていくために、住民、企業、行政が一体となって、地球温暖化防止対策の上からも「地球温暖化防止活動推進委員会」を発足させ、豊かな環境づくりに取り組むことを、ここに宣言します。

3. 消防の沿革

藩制時代、火消方といって藩庁の指揮下にあつて、浜方（仲仕）がこれに当たっていた。火災、水害等の際は各自実印を持って作業場へ向かい、そこで捺印の上現場におもむいていた。もし捺印しなかった場合7日間の仕事を差止められていた。

明治23年2月町村制施行によって消防組織の強化が提唱され、明治27年香川県令第31号の消防規則の発布により、正式に公設の多度津消防組を配置、組頭外10班、100名をもって編成された。

昭和14年 4月 1日	警防団令の施行により多度津消防組を多度津警防団と改称した。
昭和17年 5月10日	豊原村との合併により豊原村警防団が加えられた。
昭和22年12月23日	消防団令の施行により多度津町消防団として発足した。
昭和29年 5月 3日	多度津町、四箇村、白方村の合併により団員556名に増したが、小数機械化制をとり、小型動力ポンプ9台購入し、9月29日新編成4分団17部256名に改編した。
昭和31年 5月	香川県消防操法競技会（小型動力ポンプ操法）において第1位を獲得、優勝旗並びに竿頭綬を受ける。
昭和31年 9月30日	高見島、佐柳島の合併により定員320名とし6分団21部制をとる。
昭和33年 9月	四国地区消防操法競技会（小型動力ポンプ操法）において第3位を獲得、表彰状並びに竿頭綬を受ける。
昭和34年 2月13日	財団法人日本消防協会より優良消防団として表彰旗を授与される。
昭和35年 1月 8日	消防ポンプ自動車（ニッサンパトロール）1台購入、第1分団に配置する。
昭和35年 4月 1日	消防本部設置条例の制定、同年7月多度津町大通り元登記所庁舎を改造し、同年9月1日より常勤職員を配置、消防本部誕生する。
昭和36年 4月 1日	消防団員280名に条例改正される。
昭和37年 2月23日	消防ポンプ自動車（A-2級）1台購入、消防本部に配置する。
昭和37年 7月 1日	多度津町火災予防条例を制定する。
昭和37年10月 1日	多度津町火災予防条例施行規則を制定する。
昭和37年12月19日	無線機（固定移動）各1機を消防本部に配備する。
昭和38年 6月15日	消防本部職員定数12名となる。
昭和38年10月 1日	小型動力ポンプ（トーハツVM25馬力）2台購入、第2分団、第3分団の機械老朽化による更新を行う。

昭和38年10月12日	消防用運搬自動車(ジュピタージュニアT51型90馬力)1台購入、消防本部に配置する。
昭和41年 9月29日	消防団員230名に条例改正される。
昭和43年 4月 1日	消防署が設置され消防職員定数16名となる。
昭和43年10月 1日	小型動力ポンプ(トーハツV50A型B-3級30馬力)2台購入、第4分団1部、2部の機械老朽化による更新を行う。
昭和43年12月10日	消防ポンプ自動車(ニッサンA-2級130馬力)1台購入、消防署に配置する。
昭和43年12月26日	超短波150.17MHZ携帯無線2機購入、消防署に配備する。
昭和44年 1月24日	超短波150.17MHZ基地局1機、移動局3機購入、消防署に配備する。
昭和44年 4月 1日	2市1町(丸亀市、善通寺市、多度津町)消防相互応援協定締結する。
昭和45年 2月16日	消防本部(署)新庁舎落成、所在地が大字多度津甲685番地となる。
昭和45年10月 1日	消防団定数150名に条例改正、従来6ヶ所分団19ヶ所部を6分団14ヶ所部に改編する。
昭和45年10月14日	小型動力ポンプ(トーハツV50B-3級38馬力)3台購入、第2分団2部、第3分団1部、第4分団3部に配備する。
昭和46年 6月 1日	自治省告示第111号にて消防署の設置及び救急業務の政令指定を受ける。
昭和46年 8月 2日	小型動力ポンプ(トーハツV50B-3級38馬力)4台購入、第2分団3部、第3分団2部、第5分団2部、第6分団1部に配備する。
昭和47年 2月 8日	財団法人日本自動車工業協会より救急自動車の寄贈があり消防署に配置する。
昭和47年 3月 1日	消防長高島勇藍綬褒章を受章する。
昭和47年 4月 1日	消防職員条例定数23名改正により消防職員欠員者9名採用する。
昭和47年 4月22日	移動局無線機を救急車に配備する。
昭和47年 5月 1日	多度津町救急業務実施規則制定する。 政令指定により救急業務開始する。
昭和47年 7月15日	非常時広報用として、町民、消防団員からの要望により、桃陵公園サイレンスイッチ移転工事を完了する。
昭和47年 8月 1日	多度津町消防本部火災調査実施要領制定する。
昭和47年10月 1日	多度津町予防査察実施要領制定する。
昭和47年10月 9日	小型動力ポンプ(トーハツV50B-3級38馬力)3台購入、第2分団1部、第5分団1部、第6分団2部に配備する。
昭和47年11月30日	小型動力ポンプ(トーハツV50B-3級38馬力)1台購入、第3分団3部に配備する。
昭和47年12月15日	ゼネラル超短波150.17MHZ携帯無線機2機購入、消防署に配備する。

昭和48年 3月28日	社団法人日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(トヨタランドクルーザー)1台寄贈があり火災保険号多度津と命名した。
昭和48年 5月30日	ゼネラル超短波150.17MHZ携帯無線機2機購入、消防署に配備する。
昭和48年 6月19日	日立超短波移動局無線機を火災保険号(トヨタランドクルーザー)に配備する。
昭和48年 7月 1日	多度津町消防本部設置条例の一部改正を行い、消防係、施設係を廃止し、警防係、救急係を置く。 消防職員定数25名に条例改正する。
昭和48年 7月15日	財団法人日本消防協会より広報自動車(三菱ギャラン)1台寄贈がある。
昭和48年10月 1日	女性職員2名増員する。
昭和49年 1月10日	多度津町火災警報発令要領を定める。
昭和49年 1月21日	日立超短波移動局無線機を消防広報車(三菱ギャラン)に配備する。
昭和49年 5月27日	空気呼吸器(ライフゼムN-6AGESP)2器、 エンジンカッター(パートナーK-12)1台を消防署に配備する。
昭和49年 6月 1日	2市7町(丸亀市、善通寺市、多度津町、琴平町、琴南町、満濃町、仲南町、綾歌町、飯山町)による中讃地区広域市町村圏消防相互応援協定締結する。
昭和49年 9月 2日	香川地区大量流出油災害対策協議会設立により、消防本部構成機関に加入する。
昭和49年12月23日	波止浜造船株式会社より水槽付消防ポンプ自動車(ニッサンF780A2級)1台寄贈があり波止浜号と命名、消防署に配置する。
昭和50年 4月16日	日立超短波移動局無線機を水槽付消防ポンプ自動車に配備する。
昭和51年 9月20日	消防用運搬自動車(トヨタダイナ)1台購入、消防署に配置する。
昭和51年11月27日	社団法人日本損害保険協会より救急自動車(トヨタアンビュランス)1台寄贈があり消防署に配置する。
昭和52年 2月24日	移動局無線機を救急自動車(トヨタアンビュランス)に配備する。
昭和52年 8月16日	消防ポンプ自動車(ニッサンパトロール)1台購入、第1分団に配置する。
昭和52年10月18日	指揮本部用超短波携帯無線機(ゼネラル10W)を消防本部に配備する。
昭和52年12月 1日	県内共通波受入れにより基地局増設する。
昭和53年 3月31日	消防庁舎車庫増設(108㎡)する。
昭和53年 6月30日	消防職員定数28名に条例改正する。
昭和53年 7月28日	小型動力ポンプ(トーハツV15AC-1級12馬力)1台を消防署に配備する。 ジェットシュータ(18ℓ)10器を消防署に配備する。

昭和54年 8月17日	小型動力ポンプ(トーハツV50CB-3級40馬力)1台、(トーハツC-1級12馬力)2台購入、第4分団第1部、第5分団第2部、第6分団第2部に配備する。
昭和54年 9月 3日	消防本部敷地擁壁工事完成する。
昭和54年12月 5日	消防ポンプ自動車工作車仕様(ニッサンA-2級135馬力)1台購入、消防署に配置する。 移動局無線機を消防ポンプ自動車(工作車仕様)に配備する。
昭和55年 6月13日	小型動力ポンプ(トーハツV15A、C-1級12馬力)2台購入、第5分団第1部、第6分団第1部に配備する。
昭和56年 3月31日	第4分団第3部屯所を移転新築する。
昭和56年 5月15日	消防署し尿浄化槽(ニッシン分離パッキン35人槽)を取替整備する。
昭和56年 6月 5日	香川県知事より竿頭綬を授与される。
昭和56年 8月31日	消防署待機室(15㎡)を増築する。 第4分団第3部(西白方)の警鐘台移転設置する。
昭和56年 9月20日	香川県消防協会主催による操法大会(小型ポンプの部)において第4分団第2部が優秀賞を受ける。
昭和56年 9月30日	消防署に訓練塔を設置する。
昭和56年11月 3日	元消防長高島勇氏勲五等双光旭日章を受章する。
昭和56年11月30日	消防用無線サイレン制御装置〔無線局(固定局)6局(本部、葛原、四箇、奥白方、見立、西白方)]を設置する。
昭和56年12月10日	香川県共済農業協同組合連合会より救急車(トヨタ救急車J-RH 45VB-JRW)1台寄贈があり救急1号車を更新する。
昭和57年 2月 3日	多度津ライオンズクラブよりレコーディング・レサシアンの寄贈があり消防署に配備する。
昭和57年 2月10日	財団法人日本消防協会より竿頭綬を授与される。
昭和57年 2月11日	町内有志一同よりレサシベビーの寄贈があり消防署に配備する。
昭和57年 3月30日	第3分団第1部、屯所、機械器具置場を移転新築する。
昭和57年 4月29日	元分団長三宅則夫氏勲六等端宝章を受章する。
昭和57年10月28日	社団法人日本損害保険協会より離島の消防施設拡充の為、小型動力ポンプ(B-3級)1台寄贈がある。
昭和58年 2月12日	第5分団警鐘台移転設置する。
昭和58年 3月30日	第5分団第1部屯所新設する。

昭和58年 4月22日	社団法人日本損害保険協会より標準型消防ポンプ自動車(日産FG161G)1台寄贈があり2号車を更新する。
昭和58年 6月 1日	エアツール一式を消防署に配備する。
昭和58年10月 1日	多度津町消防団統合計画に基き、第3分団が統合される。
昭和58年10月11日	消防無線(ゼネラル10W)を消防ポンプ自動車に配備する。
昭和58年10月15日	小型動力ポンプ搬送車(トヨタハイエース)1台購入、第3分団に配置する。
昭和58年11月 6日	第1回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第4分団第2部、2位第3分団第3部、3位第4分団第3部)
昭和59年 3月15日	多度津町消防本部安全運転管理規程を制定する。
昭和59年 6月11日	指令車(ニッサン)1台購入、消防本部に配置する。
昭和59年 8月23日	財団法人日本消防協会より救急車(ニッサンキャラバン)1台寄贈があり救急2号車を更新する。
昭和59年10月 1日	第3分団統合屯所新築落成、所在地は大字三井字堂面。 第3分団警鐘台を新設する。
昭和59年10月22日	社団法人日本損害保険協会より火災予防の一環として、離島の消防施設拡充のため消防団に小型動力ポンプ(B-3級)1台寄贈がある。
昭和59年10月30日	小型動力ポンプ搬送車(トヨタハイエース)1台購入、第2分団に配置する。
昭和59年11月 4日	第2回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第3分団第3班、2位第4分団第3部、3位第1分団)
昭和60年 7月 1日	多度津町消防団統合計画に基づき、第2分団が統合される。
昭和60年 7月20日	第2分団統合屯所、警鐘台、新築落成、所在地は大字南鴨横貫。
昭和60年10月29日	消防用無線サイレン制御装置、堀江地区に増設する。
昭和60年11月 8日	消防無線(ゼネラル10W)を消防本部指令車に配備する。
昭和61年 2月28日	第1分団屯所移転新築落成、所在地は日の出町251-30。
昭和61年 3月 9日	第3回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第1分団、2位第4分団第2部、3位第4分団第3部)
昭和61年 5月30日	株式会社朝日スチール工業よりビデオカメラ1台寄贈がある。
昭和61年 6月10日	消防庁舎一部(事務室、仮眠室)改修する。
昭和61年 8月 1日	財団法人日本消防協会より広報車(ニッサンブルーバード)1台寄贈があり広報車7号車を配置する。

昭和61年 9月 7日	第4回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第1分団、2位第4分団第3班、3位第4分団第2班)
昭和61年 9月14日	香川県消防協会主催による操法大会(ポンプ自動車の部)において第1分団が優秀賞を受ける。
昭和61年 9月26日	第4分団統合屯所新築落成。 小型動力ポンプ搬送車(トヨタハイエース)1台及び小型動力ポンプ1台購入、第4分団に配置する。
昭和61年12月 1日	香川県消防相互応援協定締結される。
昭和63年 1月29日	消防無線機(ゼネラル10W)を第1、第2、第3、第4分団小型動力ポンプ搬送車に配備する。 消防無線機(ゼネラル10W)を第5、第6分団に配備する。
昭和63年 3月 6日	第5回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第1分団第1班、2位第3分団第1班、3位第3分団第2班)
昭和63年10月14日	小型動力ポンプ1台購入、第6分団に配置する。
昭和63年11月 3日	元団長中田重義氏勲五等瑞宝章を受章する。
昭和63年11月11日	消防ポンプ自動車(CD-I型A2級115馬力)1台購入、消防署に配置する。
昭和63年11月27日	第6回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第3分団第2班、2位第4分団第1班、3位第1分団第1班)
平成元年 7月19日	油圧カッター一式を購入、消防自動車(工作車仕様)に配備する。
平成 2年 3月 4日	第7回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第3分団第1班、2位第3分団第2班、3位第2分団第1班)
平成 2年 8月16日	消防職員定数32名に条例改正する。
平成 2年 9月 1日	小型動力ポンプ(B-3級)1台購入、第3分団に配備する。
平成 2年10月 1日	消防無線サイレン制御装置を南鴨地区(第2分団屯所)に増設する。
平成 2年12月10日	財団法人日本消防協会より救急車(トヨタ救急車T-RZH132S)1台寄贈があり救急1号車を更新する。
平成 2年11月 3日	元分団長岡本席一氏勲七等青色桐葉章を受章する。
平成 3年 3月 3日	第8回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第5分団第1班、2位第4分団第1班、3位第3分団第2班)
平成 3年 9月16日	香川県消防協会主催操法大会(小型ポンプの部)において第2分団が優秀賞を受ける。
平成 3年 9月17日	小型動力ポンプ(B-3級)を第2分団に配備する。

平成 3年11月 3日	元団長藤原京一氏勲五等瑞宝章を受章する。
平成 3年11月10日	消防団総合訓練が実施される。
平成 4年 2月20日	国庫補助事業により水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)A2級1台購入、消防署に配置し消防無線機(ゼネラル10W)を配備する。
平成 4年 9月28日	第9回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第2分団第1班、2位第3分団第1班、3位第3分団第2班)
平成 5年 7月16日	日本防火協会より広報車(トヨタT-RZH112V改)1台寄贈があり防火号として配置する。
平成 5年 8月 5日	搬送車(トヨタU-LH90改)1台購入、5号車として更新配置する。
平成 5年 9月20日	公園サイレンを手動式から消防用無線サイレン制御装置に更新し移設する。
平成 5年11月 1日	社団法人日本損害保険協会より小型動力ポンプ(B-3級)1台寄贈があり第6分団に配備する。
平成 5年11月15日	防災まちづくり事業により小型動力ポンプ(C-1級)1台購入、消防署に配備する。 防災まちづくり事業により小型動力ポンプ(B-3級)1台購入、第5分団に配備する。
平成 5年12月 3日	国庫補助事業により消防ポンプ車(BD-1型)1台購入、第1分団に配置する。 国庫補助事業により小型動力ポンプ付積載車1台購入、第3分団に配置する。
平成 6年 2月 1日	防災行政無線に関する協定締結する。
平成 6年 4月 1日	香川県防災ヘリコプター応援協定締結される。 (香川県、5市38町6広域消防組合)
平成 6年 9月11日	第10回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第2分団第1班、2位第3分団第2班、3位第3分団第1班)
平成 6年10月13日	財団法人日本消防協会より救急車(トヨタ救急車T-RZH133S)1台寄贈があり救急2号車を更新する。
平成 6年10月26日	防災まちづくり事業により小型動力ポンプ(B-3級)2台購入、第4分団、第6分団に配備する。
平成 7年 2月20日	財団法人日本消防協会より表彰旗を授与される。
平成 7年12月13日	防災まちづくり事業により小型動力ポンプ(C-1級)2台購入、第5分団、第6分団に配備する。
平成 8年 3月25日	防災まちづくり事業により小型動力ポンプ付積載車1台購入、第2分団に配置する。
平成 8年 6月21日	防災まちづくり事業により小型動力ポンプ(B-3級)1台購入、第3分団に配置する。
平成 8年 9月16日	香川県消防協会主催による操法大会(小型ポンプの部)において第3分団が優秀賞を受ける。
平成 8年10月16日	第15回全国消防操法大会(於横浜市)において第3分団が香川県代表として小型ポンプの部に出場し敢闘賞を受ける。
平成 8年11月25日	防災まちづくり事業により小型動力ポンプ(C-1級)2台購入、第5分団、第6分団に配置する。

平成 9年 1月29日	国庫補助事業により救助工作車Ⅱ型(A-2級ポンプ付)1台購入、消防署に配置する。
平成 9年 3月 2日	第11回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (第1位第3分団第1班、第2位第3分団第2班、第3位第2分団第2班)
平成 9年 3月13日	消防職員定数34名に条例改正する。
平成 9年 6月24日	見立地区サイレンを消防用無線サイレン装置に更新する。
平成 9年12月22日	消防無線機(ゼネラル10W)を購入、2号車(工作車仕様)に配備し更新する。
平成10年 3月 7日	消防庁長官表彰旗を受領する。
平成10年 3月20日	社団法人日本損害保険協会より高規格救急車(トヨタハイメディック)1台寄贈があり消防署に配置する。
平成10年 3月20日	株式会社朝日スチール工業より応急処置訓練人形(高研高度救急処置シミュレーター1体、レールダルスキルメータレサシアン3体)の寄贈がある。
平成10年 3月23日	防災まちづくり事業により小型動力ポンプ付積載車(トヨタダイナ)1台購入、第4分団に配置する。
平成10年 4月 1日	高規格救急車導入により救急救命士(2名)業務運用開始
平成10年 7月14日	多度津町消防職団員OB会が結成される。
平成10年 9月17日	社団法人日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(いすゞKC-NKR71GNA-1級)1台寄贈があり火災保険号多度津と命名、消防署に配置する。
平成11年 2月 9日	財団法人日本消防協会より「まとい」を受章する。
平成11年 3月10日	携帯電話等による119番通報転送システム事業により119番専用回線2機を消防署に設置する。
平成12年 2月 8日	財団法人日本消防協会より指令車(トヨタプラドKH-KZJ95W)1台寄贈があり消防団本部に配置する。
平成12年 6月 7日	香川県知事より消防団に知事表彰旗が授与される。
平成12年 9月26日	元副分団長濱田富輝氏勲六等瑞宝章を受章する。
平成12年10月22日	第12回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第3分団第1班、2位第3分団第2班、3位第2分団第2班)
平成13年 9月 9日	香川県消防協会主催による操法大会(小型ポンプの部)において第4分団が優秀賞を受ける。
平成13年11月 3日	元分団長辰野昇氏勲六等瑞宝章を受章する。
平成14年 8月24日	財団法人救急振興財団より心肺蘇生訓練用シミュレーター (レサシアン1体、レサシベビー1体)の寄贈がある。

平成14年 8月25日	元副分団長大高登氏勲六等瑞宝章を受章する。
平成14年 9月12日	財団法人香川県消防設備保守協会よりデジタルカメラ (ソニーサイバーショット)1台の寄贈がある。
平成14年10月27日	第13回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第3分団第1班、2位第3分団第2班、3位第4分団第1班)
平成14年11月 3日	元副団長大北芳春氏勲六等單光旭日章を受章する。
平成15年 7月 4日	指令車(ホンダバモス)1台購入、8号車を更新する。
平成15年 5月13日	団長村井利亘氏藍綬褒章を受章する。
平成15年 9月 1日	香川県総合防災訓練を多度津山にて実施する。
平成16年 1月22日	元副団長濱口忠氏勲六等瑞宝單光章を受章する。
平成16年 5月20日	第69回全国消防長会警防委員会開催。(琴平町・琴参閣)
平成16年11月14日	第14回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第1分団、2位第3分団第1班、3位第3分団第2班)
平成17年 4月 1日	IP電話119番直接受信開始。
平成17年 6月 6日	救急救命士気管挿管病院実習開始。
平成17年10月20日	多度津町女性消防隊、第17回全国女性消防操法大会に出場。
平成17年12月 1日	携帯電話119番直接受信開始。
平成18年 2月10日	多度津町女性消防隊、(財)日本消防協会より表彰旗を授与。
平成18年 7月 4日	救急救命士気管挿管並びに薬剤投与運用開始。
平成18年 9月17日	香川県消防協会主催による操法大会(ポンプ車の部)において第1分団が優秀賞を受ける。
平成18年10月22日	第15回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第3分団第1班、2位第1分団、3位第3分団第2班)
平成20年 3月18日	社団法人日本自動車工業会より高規格救急自動車(ニッサンパラメディック高規格救急自動車 T-RZH133S)1台寄贈があり、救急2号車を更新する。
平成20年 4月29日	元団長村井利亘氏が旭日双光章を受章する。
平成21年 2月23日	財団法人日本消防協会より防災活動車(マツダボンゴ ABF-SK82M)1台寄贈があり、消防団 本部に設置する。
平成21年 4月29日	元分団長小崎龍雄氏瑞宝單光章を受章する。
平成22年 1月20日	消防ポンプ自動車(日野BDG-XZU304E)1台購入、3号車を更新する。
平成22年 3月31日	総務省消防庁より無償貸付の消防団救助資器材搭載型車両(小型動力ポンプ付)1台を第3分

	団に配置する。
平成22年 1月20日	消防ポンプ自動車(日野BDG-XZU304E)1台購入、3号車を更新する。
平成22年 4月29日	元団長高島勝美氏瑞宝双光章を受章する。
平成22年 5月28日	多度津町消防団が香川県知事より竿頭綬を授与される。
平成22年10月31日	第16回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第3分団第2班、2位第4分団第2班、3位第3分団第1班)
平成23年 3月14日～ 平成23年 3月21日	東日本大震災に伴い総務省消防庁より緊急消防援助隊派遣指示があり香川県隊隊長以下44 名車両10台にて出動。 多度津町消防本部においては2名が出動した。
平成23年 4月29日	元分団長門要氏瑞宝単光章を受章する。 元副団長大嶋寛氏瑞宝単光章を受章する。 元消防長高嶋弘武氏瑞宝双光章を受章する。
平成23年 5月27日	香川県消防協会より第5分団に10年無火災、第6分団に5年無火災の竿頭綬を授与される。
平成23年 9月11日	香川県消防協会主催による操法大会(小型ポンプの部)において第2分団が 優秀賞を受ける。
平成23年11月 9日	総務大臣より表彰。
平成24年 2月29日	元団長門 要氏瑞宝単光章を受章する。
平成24年 4月29日	元副団長水澤正義氏瑞宝単光章を受章する。 元消防司令長藤岡利明氏従六位瑞宝単光章を受章する。
平成24年11月18日	第17回消防団ポンプ操法大会が実施される。 (1位第2分団第1班、2位第2分団第2班、3位第3分団第2班)
平成24年11月19日	小型動力ポンプ(B-3級)1台購入、2分団に配置する。
平成25年 1月25日	丸亀市、善通寺市、多度津町消防通信指令事務協議会の設置(調印式)
平成25年 3月22日	消防救急デジタル無線施設整備事業業務委託完了。
平成25年 3月22日	署活系無線機8台消防本部に配備。
平成25年11月 3日	元分団長山根一義氏瑞宝単光章を受章する。
平成26年 2月 4日	総務省消防庁より無償貸付の消防団拠点資機材等セット一式を団本部に配置する。
平成26年 3月 4日	中讃消防指令センター試験運用開始。
平成26年 3月16日	総務省消防庁より無償貸付の消防団救助資器材搭載型車両(小型動力ポンプ付)1台を第2分 団に配置する。

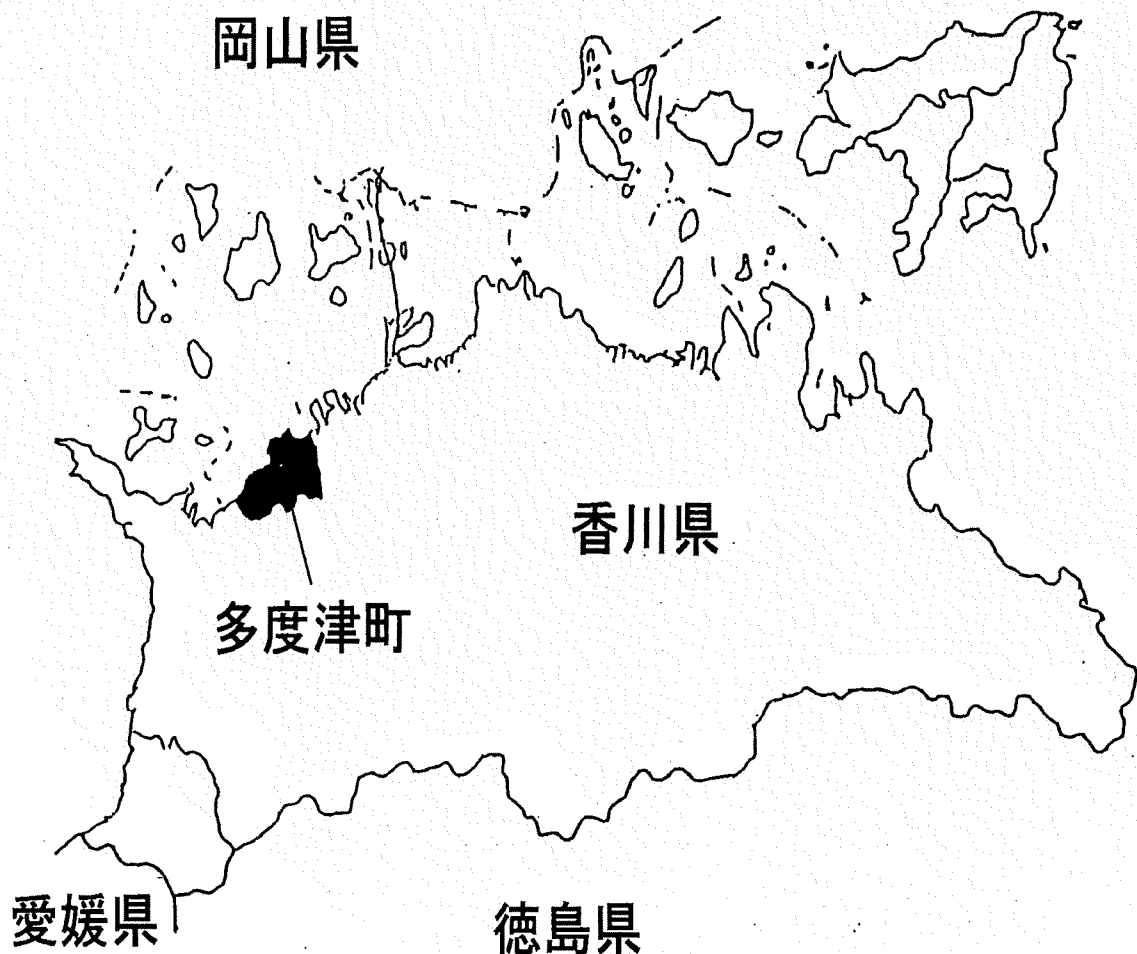
平成26年 3月27日	多度津山大字青木951-8消防庁舎建設予定地造成工事完了。(3473.73㎡)
平成26年 3月28日	車両動態管理システム等整備事業業務委託完了。
平成26年 4月 1日	中讃消防指令センター運用開始。
平成26年 4月29日	元消防次長福井悟志氏瑞宝単光章を受章する。
平成26年 5月12日	消防庁舎起工式。
平成26年11月17日	搬送車(トヨタダイナ)1台購入。5号車を更新する。
平成27年 3月10日	多度津町消防団が優良消防団として表彰される。
平成27年 3月20日	消防庁舎竣工。(引渡しを受ける)
平成27年 3月31日	香川県地域防災力総合支援事業により小型動力ポンプ付軽四輪駆動消防自動車(ミツビシミニキャブバン)1台購入、5分団に配置する。
平成27年 4月 1日	消防本部(署)新庁舎落成、所在地が大字青木951番地8となる。 事務所棟 鉄骨造2階建 1602.26㎡ 訓練塔 鉄骨造 3階建 120.6㎡
平成27年 8月 6日	香川県地域防災力総合支援事業により特定小電力トランシーバー10機購入。消防団に配備。
平成28年 3月25日	香川県地域防災力総合支援事業により第5分団資機材倉庫設置工事 竣工
平成28年 4月16日～	熊本地震が発生し消防庁長官からの要請に基づき、緊急消防援助隊香川県隊としてポンプ車
平成28年 4月22日	(3号車)1台及び隊員6名を熊本市に派遣した。
平成28年 9月18日	香川県消防協会主催による操法大会(小型ポンプの部)において第3分団が 準優勝する。
平成28年10月28日	元第2分団分団長木谷精三氏が瑞宝単光章を受章する。
平成28年11月 1日	元分団長木谷精三氏が高齢者叙勲を受章する。
平成29年 1月27日	緊急防災・減災事業により、災害対応特殊水槽付消防自動車I-A型(GD7JGAA)1台購入し、水 槽付消防ポンプ自動車(日野U-FD3HEAA改 平成4年式)を更新する。
平成29年 2月13日	一般社団法人 日本損害保険協会より、小型動力ポンプ付軽消防車 B-2級可搬ポンプ自動 吸水付(ダイハツハイゼットカーゴ)の寄贈を受ける。
平成29年 2月20日	アステラス製薬株式会社より高規格救急車(トヨタハイメディックCBF-TRH221S)1台の寄贈が あり救急1号車を更新する。
平成29年 4月29日	元消防長高島忠実氏が瑞宝双光章を受章する。
平成29年12月 3日	消防ポンプ自動車(日野デュトロTPG-XZU600E)1台購入、第1分団に配備する。
平成30年 3月 7日	多度津町消防本部、消防団が竿頭綬を消防庁長官表彰される。
平成30年 7月12日～	西日本を中心とする広い範囲で記録された集中豪雨により甚大な被害が発生したため、緊急

平成30年 7月25日	消防援助隊香川県隊として隊員17名を広島県安芸郡坂町に派遣した。
平成30年11月 3日	元第6分団分団長松田伊勢高氏が瑞宝単光章を受章する。
平成30年11月11日	第19回多度津町消防団操法大会が実施される。 (1位第3分団第2班、2位第3分団第1班、3位第2分団第2班)
平成30年12月 5日	公益財団法人日本消防協会より防災活動車(軽バン)1台寄贈、団本部に配置する。
平成31年 3月 5日	多度津町多度津女性消防隊が日本消防協会会長表彰を受章する。
令和元年 5月21日	元副団渡邊正則氏が瑞宝単光章を受章する。
令和元年 6月20日	多度津町消防団が竿頭綬を受章する。
令和 2年 1月29日	緊急防災・減災事業により、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車CD-I 型(2RG-XZU640)1台購入し、4号車を更新する。
令和 2年10月29日	多度津町消防団が香川県知事より優良消防団表彰旗を受章する。
令和 2年11月 3日	元副団長竹林正知氏が瑞宝単光章を受章する。
令和 2年11月30日	多度津町西白方740番地に多度津町消防団第4分団総合屯所を移転新築し運用開始する。
令和 3年11月 7日	元分団長森忠氏が瑞宝単光章を受章する。
令和 4年 1月17日	緊急防災減災事業により救助工作車Ⅱ型(2KG-GX2ABA)1台を購入し、2号車を更新する。
令和 4年 2月25日	緊急防災減災事業により、小型動力ポンプ付積載車を更新し、消防ポンプ自動車(2RG-XZU600E)を第4分団に配置する。
令和 4年11月 3日	元副分団長合田健氏が瑞宝単光章を受章する。
令和 4年11月 3日	元消防次長福寄敏一氏が瑞宝単光章を受章する。
令和 5年11月 9日	元分団長山本豪氏が瑞宝単光章を受章する。
令和 6年11月 3日	元副団長大島竹雄氏が瑞宝単光章を受章する。
令和 7年 2月13日	緊急防災・減災事業により高規格救急車(トヨタハイメディック 3BF-TRH226S)1台を購入し救急2号車を更新する。
令和 7年 3月25日～	令和7年3月愛媛県今治市で発生した林野火災で、緊急消防援助隊香川県隊として救急小隊
令和 7年 3月31日	(救急1号車)1台、延べ隊員8名を派遣した。

4. 位置及び地勢

多度津町は、讃岐平野の中央に位置し、陸地部東西7.12km、南北3.83kmで北方海岸、海岸線はほぼ一線凸字型であって、市街地の東南平野部は野開け、その広さは町の60%を占めている。東は丸亀市に接し、西は黒戸山頂を見通し、三豊市に接し、南は善通寺市に接し、北は瀬戸内海に面し、当多度津港を隔てること7.5km海上に高見島があり、これよりさらに約5kmの海上に佐柳島があり、岡山県笠岡市と境している。気候温和で地味肥え、地勢は陸地部と島しょ部からなり、島においては海拔297mの竜王山、海拔248mの高登山で全面覆われているが、陸地部においては概ね平で南より北に向いて250分の1の傾斜をもっている。

位 置	東 経	1 3 3 度 4 5 分 2 3 秒
	北 緯	3 4 度 1 6 分 2 3 秒
広 さ	面 積	2 4 . 3 9 K m ²
	東 西	7 . 1 2 K m
	南 北	3 . 8 3 K m



5. 世帯と人口

令和7年3月31日現在

世帯数	人口		
	男	女	合計
10,653世帯	11,132人	10,594人	21,726人

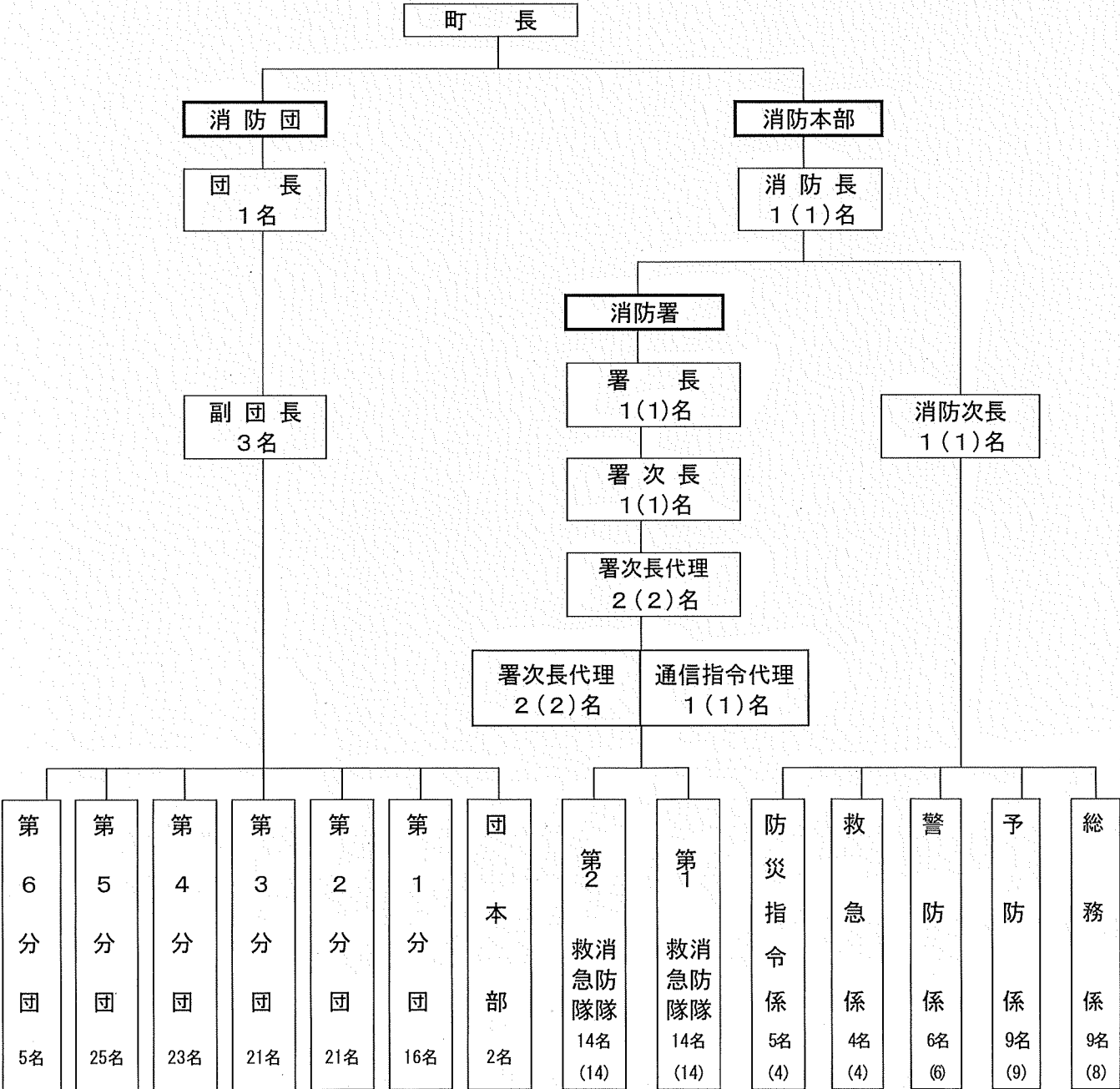
6. 消防庁舎の現況

令和7年3月31日現在

所在地	〒764-0033 香川県仲多度郡多度津町大字青木951番地8
敷地面積	3,473.73㎡
庁舎建築延面積	1,221.68㎡
建築構造	鉄骨造2階建（一部塔屋2階付）
竣工年月日	平成27年 3月20日

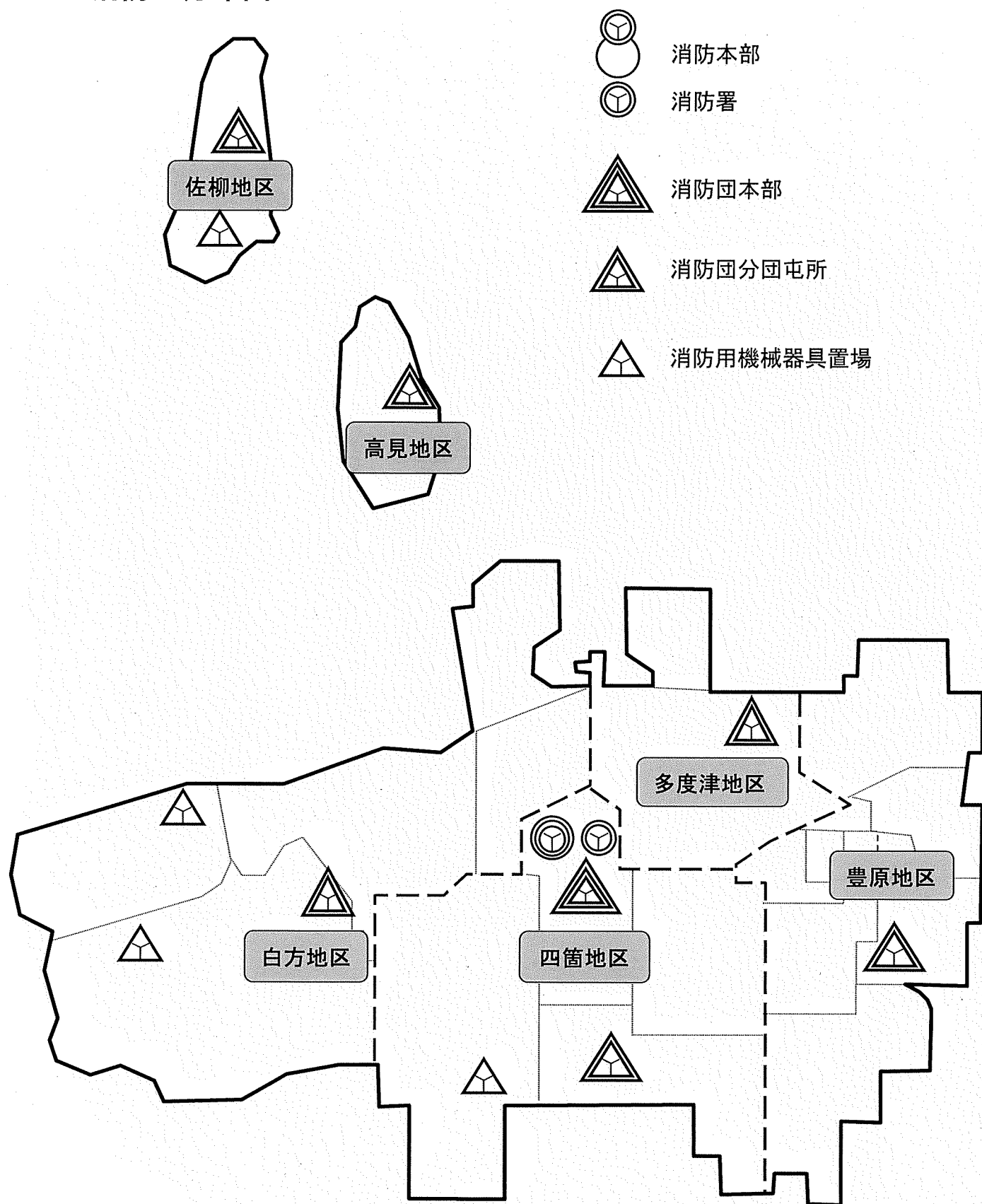
7. 消防の組織

令和7年3月31日現在



() は兼務者再掲

8. 消防の分布図



9. 消防事務（業務）分掌表

消 防 本 部

総 務 係

- (1) 人事及び組織に関すること
- (2) 予算及び経理に関すること
- (3) 文書收受及び発送に関すること
- (4) 消防施設の維持管理に関すること
- (5) 物品の調達管理に関すること
- (6) 公印の保管に関すること
- (7) 消防統計に関すること
- (8) 職員の福利厚生に関すること
- (9) 職員の教養に関すること
- (10) 職員の規律及び取締に関すること
- (11) 各係の連絡調整に関すること
- (12) 消防広報に関すること
- (13) 消防団の事務に関すること
- (14) 水難救済会の事務に関すること
- (15) 消防職員委員会に関すること
- (16) その他、他係に属しないこと

予 防 係

- (1) 予防査察に関すること
- (2) 建築同意に関すること
- (3) 高圧ガス等の保安及び指導に関すること
- (4) 危険物の規制に関すること
- (5) 防火対象に関すること
- (6) 火災の原因及び損害の調査に関すること
- (7) その他火災予防に関すること

警 防 係

- (1) 警防計画活動に関すること
- (2) 水火災の警戒、防ぎよに関すること
- (3) 人命救助に関すること
- (4) 消防機械器具の需給に関すること
- (5) 消防技術の訓練指導に関すること
- (6) 消防気象に関すること
- (7) 消防通信に関すること
- (8) 消防水利に関すること

救 急 係

- (1) 救急業務計画に関すること
- (2) 医療機関との連絡調整に関すること
- (3) 救急資器材の需給に関すること
- (4) 救急統計に関すること

防災指令係

- (1) 中讃消防指令センターの予算に関すること
- (2) 中讃消防指令センターの人事及び組織に関すること
- (3) 消防通信に関すること
- (4) 広域訓練計画に関すること
- (5) 広域応援及び受援事務に関すること
- (6) その他防災指令に関すること

消 防 署

- (1) 署の組織及び人事に関すること
- (2) 署員の福利厚生に関すること
- (3) 署員の服務教養に関すること
- (4) 署員の訓練に関すること
- (5) 署内の企画調整に関すること
- (6) 文章の発送に関すること
- (7) 公印の保管に関すること
- (8) 消防施設の保全に関すること
- (9) 消防用機械器具の保全に関すること
- (10) 物品の調達に関すること
- (11) 警防調査に関すること
- (12) 警防業務計画に関すること
- (13) 救急統計に関すること
- (14) 消防水利の保全に関すること
- (15) 水火災、地震等の災害の警戒、防ぎよ、及び人命救助活動に関すること
- (16) 救急活動に関すること
- (17) 消防通信に関すること
- (18) 消防気象に関すること
- (19) 道路占用に関すること
- (20) 広報活動に関すること
- (21) 防火の指導及び相談に関すること
- (22) その他署に関すること

1. 消防予算

(1) 令和7年度予算（一般会計）

町 総 予 算 額		10,018,000 千円
消 防 費	常 備 消 防 費	335,824 千円
	非 常 備 消 防 費	23,552 千円
	消 防 施 設 費	18,879 千円
	防 災 費	18,672 千円
	水 難 救 済 会 費	161 千円
	合 計	397,088 千円
町総予算に対する消防費比率		3.9 %

(2) 過去町総支出額と消防費（決算）

区 分 年 度	町総支出額(円)	消防費(円)	比 率 (%)	人 口 (人) (世 帯)	一人当りの 消防費(円)	一世帯当りの 消防費(円)
26	10,677,129,271	1,296,788,677 (庁舎建設費、防災行政 無線設置費用含む)	1.21	23,796 (10,325)	54,496	125,597
27	9,031,181,092	581,516,228	6.44	23,661 (10,334)	24,577	56,272
28	8,608,644,575	452,728,701	5.26	23,754 (10,608)	19,059	42,678
29	9,404,145,058	396,928,067	4.22	23,639 (10,654)	16,791	37,256
30	8,463,708,094	342,705,585	4.05	23,445 (10,765)	14,955	32,571
R1	8,870,460,949	373,015,074	4.21	23,383 (10,946)	17,899	38,237
R2	12,139,533,813	412,687,582	3.40	22,825 (10,622)	19,363	41,607
R3	13,484,305,363	497,768,442	3.69	22,213 (10,329)	22,409	48,191
R4	10,266,205,138	341,050,621	3.32	22,031 (10,405)	15,480	32,778
R5	9,799,465,580	329,610,667	3.37	21,995 (10,653)	14,986	30,941
R6	9,491,847,000	383,378,484	4.03	21,726 (10,736)	17,646	35,710

総務

2. 消防施設整備費国庫補助事業一覧表

区分 年度	補 助 事 業 の 内 容	数 量	基 準 額 (千円)	事 業 費 (千円)	補 助 金 額 (千円)	配 置 箇 所	備 考
33	小型動力ポンプ(B2級)	1	210	255	70	第2分団 第4部	トーハツポンプ
34	消防ポンプ自動車(A2級)	1	1,950	1,619	530	第1分団	ニッサン 森田ポンプ
35	小型動力ポンプ(B3級)	2	420	486	140	第2分団 1部・5部	トーハツポンプ
36	消防ポンプ自動車(A2級)	1		1,531		本 部	トヨタ ニッキポンプ
37	短波無線機固定1W	1	150	150	50	〃	ゼネラル
38	〃 移動0.5W	1	180	180	60	〃	〃
39	防火水そう有蓋(空地用) 40t級	1	300	300	100	奥白方	
40	〃	1	420	430	140	見 立	
43	消防ポンプ自動車(A2級)	1	1,950	2,250	650	署	ニッサン 森田ポンプ
	小型動力ポンプ(B3級)	2	600	600	200	第4分団 1部・2部	トーハツポンプ
	超短波無線機固定10W	1	390	390	130	署	日 立
	〃 移動10W	3	1,170	1,170	390	〃	〃
45	小型動力ポンプ(B3級)	3	900	945	300	第2分団 第3分団 第4分団	トーハツポンプ
46	〃	4	1,200	1,260	400	第2分団 第3分団 第5分団 第6分団	〃
	防火水そう有蓋(空地用) 40t級	1	450	870	300	高見島	
47	小型動力ポンプ(B3級)	3	900	1,074	300	第2分団 第5分団 第6分団	トーハツポンプ
	防火水そう有蓋(空地用) 40t級	1	450	788	150	奥白方	
50	〃	1	1,170	1,464	390	〃	
	〃	1	1,170	1,455	390	見 立	
52	消防ポンプ自動車(A2級)	1	4,230	4,795	1,410	第1分団	ニッサン 森田ポンプ
52	超短波無線機携帯10W	1	420	500	140	本 部	ゼネラル

区分 年度	補 助 事 業 の 内 容	数量	基準額 (千円)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	配 置 箇 所	備 考
54	消防ポンプ自動車(A2級)	1	8,490	13,720	2,830	署	ニ ッ サ ン 森 田 ポ ン プ
	超短波無線機移動10W	1	456	476	152	〃	ゼ ネ ラ ル
	防火水そう有蓋(空地用) 40t級	1	1,980	2,543	660	見 立	
	小型動力ポンプ(B3級)	1	756	758	252	第4分団	トーハツポンプ
55	防火水そう有蓋(空地用) 40t級	1	2,094	2,190	698	奥 白 方	
57	防火水そう有蓋(道路用) 40t級	1	3,750	3,516	1,172	仲 ノ 町	
	〃	1	3,570	3,723	1,190	本通1丁目	
58	〃	1	3,120	3,553	1,040	葛 原 北 条	
	〃	1	3,750	3,535	1,178	家 中	
	小型動力ポンプ積載車	1	1,554	1,495	498	第3分団	ト ヨ タ
	超短波無線機移動10W	1	474	485	158	署	ゼ ネ ラ ル
59	防火水そう有蓋(道路用) 40t級	1	3,750	3,500	1,166	西 白 方	
	小型動力ポンプ積載車	1	1,554	1,495	498	第2分団	ト ヨ タ
60	防火水そう有蓋(道路用) 40t級	1	3,750	5,000	1,250	西 白 方	
61	小型動力ポンプ積載車	1	1,554	1,560	518	第4分団	ト ヨ タ
63	消防ポンプ自動車 CD-I型	1	7,470	11,978	2,490	本 部	三 菱 ニ ッ キ ポ ン プ
3	水槽付消防ポンプ自動車 I-A型	1	10,434	21,630	3,478	〃	日 野 ニ ッ キ ポ ン プ
5	消防ポンプ自動車 BD-I型	1	6,570	10,403	2,190	第1分団	ト ヨ タ 森 田 ポ ン プ
	小型動力ポンプ付積載車	1	3,312	6,169	1,104	第3分団	ト ヨ タ
7	耐震性貯水槽100t級	1	12,900	17,201	6,450	栄 町	
8	消防ポンプ付 救助工作車II型	1	27,338	56,135	9,112	署	日 野 森 田 ポ ン プ
25	消防救急デジタル無線施設整備事業	1	47,503	120,000	7,918	本 役 部 場	N E C

※2基合わせた金額を補助金としてもらったため同じ項目にしています。

3. 消防施設整備費県補助事業一覧表

区分 年度	補助施設の種類	数量	基準額 (千円)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	配置箇所	備考
元	超短波無線機基地局 10W	1	516	868	172	署	ゼネラル
	消火栓	1	141	670	47	山階	
2	〃	2	282	942	94	三井 他 2 箇所	
3	超短波無線機移動局 10W	1	486	518	162	署	ゼネラル
	消火栓	3	423	1,786	141	東白方 他 2 箇所	
4	〃	3	423	1,994	141	道福寺 他 2 箇所	
	超短波無線機移動局 10W	1	486	525	162	署	ゼネラル
	〃 1W	1	168	228	56	〃	〃
5	消火栓	3	423	1,840	141	日の出町 他 2 箇所	
	超短波無線機移動局 10W	2	972	1,016	324	署	ゼネラル
	〃 5W	3	1,062	1,068	354	〃	〃
	耐震動血圧計	2	86	89	28	〃	
	経鼻エアウェイ	1	56	57	18	〃	
	喉頭鏡	2	190	215	63	〃	
6	マギール鉗子	2	80	88	26	〃	
	超短波無線機携帯局 10W	1	486	787	162	〃	ゼネラル
	消火栓	3	423	2,180	141	庄 他 2 箇所	
	モニター	1	2,960	2,960	986	署	
	在宅医療維持資器材	1	120	138	40	〃	
	ショックパンツ	1	240	288	80	〃	
7	自動心臓マッサージ器	1	1,750	2,008	583	〃	
	消火栓	3	423	2,086	141	西浜 他 2 箇所	
8	超短波無線機移動局 5W	5	1,770	1,854	590	署	ゼネラル
	消火栓	3	423	2,038	141	三井 他 2 箇所	
	超短波無線機移動局 10W	1	486	556	162	署	ゼネラル
9	〃 5W	2	708	783	236	〃	〃
	消火栓	3	423	2,155	141	桜川 他 2 箇所	
	超短波無線機移動局 10W	1	486	556	162	署	ゼネラル
	聴診器	3	105	105	35	〃	
9	モニター	1	2,641	2,641	880	〃	

区分 年度	補助施設の種類	数量	基準額 (千円)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	配置箇所	備考
9	経鼻エアウェイ	1	55	55	18	署	
	喉頭鏡	1	84	84	28	〃	
	マギール鉗子	1	39	42	13	〃	
	在宅医療セット	1	120	122	40	〃	
	カットダウンセット	1	55	120	18	〃	
10	消火栓	3	423	2,072	141	南 鴨 他 2 箇所	
11	〃	3	423	2,173	141	堀 江 他 2 箇所	
26	消防団現場活動用 救助資機材	一式	-	4,174	2,087	消 防 団	(株)岩本商会
	消防団現場活動用 安全保護具	一式	-	2,311	1,155	消 防 団	ミドリ安全(株)
	自動体外式除細動器	5	-	1,620	810	消 防 団	日本船舶 薬品(株)
	小型動力ポンプ付 軽四輪駆動消防自動車	1	-	4,536	2,268	第 5 分 団	(株)丸井工務店
30	消防団員用活動服	一式	-	2,948	1,474	消 防 団	(株)サントップ
	消防団用署活系無線機 整備事業	2	-	727	363	〃	協和テクノロ ジーズ(株)
	救助用ゴムボート	2	-	735	367	署	(株)丸井工務店
	消防資器材		-	1,736	868	〃	〃
31	消防団員用署活系無線機整備	4	-	358	179	消 防 団	協和テクノロ ジーズ(株)
	消防団員用雨衣	60	-	782	391	〃	(株)サントップ
	消火栓整備事業	5	-	2,783	1,391	堀江他4 箇所	
R2	可搬ポンプ(B-2級)	1	-	1,705	750	〃	(株)岩本商会
	新設消火栓(若葉町)	1	-	957	657	署	(株)高原水道設備
	消防用送水管新設工事(佐柳島)	1	-	2,310	800	消 防 団	(株)中茂工務店
R3	可搬ポンプ(B-2級)	1	-	1,969	985	〃	(株)岩本商会
	消防団員用署活系無線機整備	4	-	438	220	〃	協和テクノロ ジーズ(株)
	消防用ホース	16	-	541	270	〃	(株)丸井工務店
	新設消火栓(堀江三丁目)	1	-	998	499	署	(有)久保田総業
R4	消防用ホース	16	-	565	282	消 防 団	(株)丸井工務店
	新設消火栓(南鴨)	1	-	3,164	1,579	署	橋本設備工業(有)
R5	消防用ホース	10	-	429	214	消 防 団	(株)岩本商会
R6	〃	10	-	374	124	〃	(株)丸井工務店
	新設消火栓(西港町)	1	-	4,133	1,377	〃	(株)高原水道設備 他2社

4. 地域総合整備事業(防災まちづくり事業)一覧表

(単独分)

区分 年度	事業名	数量	事業費 (千円)	地方債 充当率	地方債 (千円)	一般財源 (千円)	配置箇所
6 1	防火水槽（道路用） 40t級	1	5,150	88%	5,100	717	西白方
	小型動力ポンプ	1	667				第4分団
6 2	〃	2	1,334	82%	1,100	234	第2分団 第5分団
2	防火水槽（空地用） 40t級	2	14,126	88%	14,000	834	西白方 葛原
	小型動力ポンプ	1	708				第3分団
3	防火水槽（道路用） 40t級	2	15,400	94%	15,000	1,000	西浜 葛原
	小型動力ポンプ	1	600				第2分団
4	防火水槽（空地用） 40t級	1	7,700	94%	7,200	500	堀江
5	〃（道路用）	1	8,000	94%	10,000	615	京町
	小型動力ポンプ	2	1,385				署 第5分団
6	防火水槽（空地用） 40t級	1	10,197	93%	11,300	864	日の出町
	小型動力ポンプ	2	1,967				第4分団 第6分団
7	防火水槽（空地用） 40t級（道路用）	2	15,532	95%	31,002	1,798	北鴨 庄
	小型動力ポンプ付 積載車	1	6,849				第2分団
	小型動力ポンプ	2	1,215				第5分団 第6分団
8	耐震性貯水槽（道路用） 60t級	1	10,300	95%	13,900	900	山階
	小型動力ポンプ	3	2,472				第3分団 第5分団 第6分団
9	小型動力ポンプ付積載車	1	7,770	95%	7,300	400	第4分団
10	耐震性貯水槽（空地用） 60t級	1	10,500	95%	9,900	600	西浜
11	耐震性貯水槽（道路用） 60t級	1	11,400	91%	10,400	1,000	道福寺

5. 歴代消防長・署長・団長

(1) 歴代消防長

令和7年3月31日現在

歴代	氏名	経過年月日
初代	信濃 勇	自 昭和35年 4月 1日 至 昭和43年 3月31日
2代	高島 勇	自 昭和43年 4月 1日 至 昭和47年 6月30日
3代	村井 武	自 昭和47年 7月 1日 至 昭和52年 2月28日
4代	高島 準一	自 昭和52年 3月 1日 至 昭和52年 3月31日
5代	中野 信之	自 昭和52年 4月 1日 至 昭和54年 3月31日
6代	塩田 正夫	自 昭和54年 4月 1日 至 昭和56年 3月31日
7代	高島 準一	自 昭和56年 4月 1日 至 昭和58年 3月31日
8代	藤岡 利明	自 昭和58年 4月 1日 至 平成 3年 3月31日
9代	高嶋 弘武	自 平成 3年 4月 1日 至 平成11年12月27日
10代	秋山 昭憲	自 平成11年12月28日 至 平成15年11月30日
11代	塩田 耕三	自 平成15年12月 1日 至 平成19年 3月31日
12代	高島 忠実	自 平成19年 4月 1日 至 平成25年 3月31日
13代	前原 成俊	自 平成25年 4月 1日 至 平成29年 3月31日
14代	木村 政文	自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日
15代	阿河 弘次	自 平成30年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日
16代	青木 孝一	自 令和 5年 4月 1日 至 現在

(2) 歴代消防署長

歴代	氏名	経過年月日
初代	西山 繁三郎	自 昭和43年 4月 1日 至 昭和47年 6月30日
2代	村井 武	自 昭和47年 7月 1日 至 昭和52年 2月28日
3代	塩田 正夫	自 昭和55年 4月 2日 至 昭和56年 3月31日
4代	藤岡 利明	自 昭和56年 4月 1日 至 平成 3年 3月31日
5代	高嶋 弘武	自 平成 3年 4月 1日 至 平成11年12月27日
6代	秋山 昭憲	自 平成11年12月28日 至 平成15年11月30日
7代	塩田 耕三	自 平成15年12月 1日 至 平成19年 3月31日
8代	高島 忠実	自 平成19年 4月 1日 至 平成25年 3月31日
9代	前原 成俊	自 平成25年 4月 1日 至 平成29年 3月31日
10代	木村 政文	自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日
11代	阿河 弘次	自 平成30年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日
12代	青木 孝一	自 令和 5年 4月 1日 至 現在

(3) 歴代消防団長

歴代	氏名	経過年月日
初代	竹田 正頼	自 昭和22年 5月 至 昭和26年10月25日
2代	高島 勇	自 昭和26年10月26日 至 昭和43年 3月31日
3代	中田 重義	自 昭和43年 4月 1日 至 昭和53年 3月31日
4代	古川 弘	自 昭和53年 4月 1日 至 昭和55年 4月 1日
5代	藤原 京一	自 昭和55年 4月 2日 至 平成 2年11月30日
6代	村井 利亘	自 平成 2年12月 1日 至 平成19年 5月20日
7代	高島 勝美	自 平成19年 5月21日 至 平成21年 3月31日
8代	村井 勉	自 平成21年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日
9代	高島 悟	自 令和 6年 4月 1日 至 現在

6. 消防職員に対する人口世帯数割

令和7年3月31日現在

人口・世帯 区 分	人 口 (21,726人)	世 帯 数 (10,736世帯)	面 積 (24.39km ²)
消防職員 1人当り	621人	307世帯	0.70km ²
消 防 車 1台当り	7,242人	3,579世帯	8.13km ²

7. 消防職員定数及び実員配置状況

令和7年3月31日現在

階級別 区 分		司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	合 計
定 数		—	—	—	—	—	—	—	34
実 員		1	2	15	5	8	4		35
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	消 防 次 長		1						1
	総 務 係			4	3	2			9
	予 防 係			5		2	2		9
	警 防 係		1	2		2	1		6
	救 急 係			2	2				4
	防災指令係			2		2	1		5
	小 計	1	2	15	5	8	4		35
消 防 署	署 長	(1)							(1)
	署 次 長		(1)						(1)
	署次長代理		(1)						(1)
	署隊長代理			(2)					(2)
	通信指令代理			(1)					(1)
	1 係			(6)	(3)	(4)	(1)		(14)
	2 係			(5)	(2)	(4)	(3)		(14)
	小 計	(1)	(2)	(14)	(5)	(8)	(4)		(34)
合 計		1(1)	2(2)	15(14)	5(5)	8(8)	4(4)		35(34)

() は兼務者

8. 消防職員勤続年数一覧表

令和7年3月31日現在

階級別 総 数	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他の 職 員	合 計
1年未満						1		1
1年						1		1
2年								
3年					1	1		2
4年								
5年						1		1
6年								
7年					3			3
8年					1			1
9年					1			1
10年								
11年					2			2
12年				2				2
13年								
14年								
15年				2				2
16年								
17年								
18年								
19年								
20年				1				1
21年								
22年								
23年								
24年			1					1
25年			1					1
26年			1					1
27年			1					1
28年								
29年			1					1
30年			3					3
31年			3					3
32年		1						1
33年	1		1					2
34年			3					3
35年								
36年								
37年以上		1						1
合 計	1	2	15	5	8	4		35

9. 消防職員階級別年令一覧表

令和7年3月31日現在

階級別 年 令	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他の 職 員	合 計
18才								
19才								
20才								
21才						1		1
22才								
23才								
24才						2		2
25才								
26才					3	1		4
27才					2			2
28才					1			1
29才								
30才					2			2
31才				1				1
32才								
33才				1				1
34才				2				2
35才								
36才								
37才								
38才								
39才								
40才								
41才								
42才				1				1
43才								
44才								
45才								
46才			1					1
47才			1					1
48才			1					1
49才			1					1
50才			1					1
51才			1					1
52才			4					4
53才			3					3
54才			2					2
55才								
56才		2						2
57才								
58才								
59才	1							1
60才以上								
合 計	1	2	15	5	8	4		35

10. 消防職員居住状況

令和7年3月31日現在

階 級 距 離	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他の 職員	合 計
200m 未満								
200m ～ 500m								
500m ～ 1km						1		2
1km ～ 2km		1	3	2				7
2km ～ 3km	1	1	5	1	2	2		14
3km ～ 4km			5	1	2			7
4km 以上				1	4	1		5
合 計	1	2	15	5	8	4		35

11. 消防職員特殊技能資格取得状況

令和7年3月31日現在

資格別	階 級	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他の 職員	合 計
自動車 運 転 免 許	大 型 一 種	1	2	14	7	5			29
	中 型 一 種			1		1			2
	中型一種(限定付)				2	1			3
	準 中 型			2	2	5	1		10
	準中型(限定付)	1	1	2					4
	普 通 一 種	1	2	15	5	9	3		35
	中型二種(限定付)								
	大 型 特 殊			2		1			3
	大型自動二輪	1	1	6	1	1	1		11
	普通自動二輪	1	2	11	1	2	2		19
救 急 救 命 士		1		6	4	2	1		14
技 特 殊 無 線 士 線	二 級 (陸 上)	1	2	14	5				22
	航 空			4					4
	四 級 (海 上)								
免 船 小 許 船 型	一 級		1	1					2
	二 級		1	2	3	1			7
	特 殊		1	1	1				3
危険物取扱者乙種第4類			2	5	2	4	2		15
小型移動クレーン				8	5	4			17
玉 掛 け				8	5	4			17
巻 き 上 げ					5	4			9
潜 水 士		1	1	7	3	6	1		19
第二種酸素欠乏危険作業主任者				5	5	3			13
特別管理産業廃棄物管理責任者			1		1				2
特定化学物質等作業主任者									
第 2 種 衛 生 管 理 者				1					1
予 防 技 術 検 定			1	5	1	1			8

12. 消防団員定数及び実員

令和7年3月31日現在

階 級 区 分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
定 数	—	—	—	—	—	—	—	150
実 員	1	3	7	6	10	25	67	119

13. 消防団員在職年数状況

令和7年3月31日現在

分団別 区 分	団 本 部	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	合 計
5年未満		5	4	3	8	4	1	25
5年以上10年未満		2	3	7	3	2	2	19
10年以上15年未満		3	6	2	4	5	1	21
15年以上20年未満		2	4	6	2	3		17
20年以上25年未満			3	2	2	1		8
25年以上30年未満				2	1			3
30年以上	5	5	2		3	10	1	26
合 計	5	17	22	22	23	25	5	119

14. 消防団員報酬及び手当一覧表

令和7年3月31日現在

階 級 区 分	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
団 員 報 酬（年 間）	125,000 円	90,000 円	76,000 円	56,000 円	52,000 円	37,000 円	36,500 円
出 動 報 酬	災 害	4 時間未満					4, 0 0 0 円
		4 時間以上 8 時間未満					8, 0 0 0 円
		8 時間以上 4 時間未満毎					4, 0 0 0 円
	訓 練	団員一回につき					3, 0 0 0 円
	その他	団員一回につき					2, 4 0 0 円
夜 警 手 当	各部につき年額					7, 1 0 0 円	
機 械 器 具 整 備 手 当	各部につき年額					7, 1 0 0 円	
自 動 車 管 理 手 当	1 台につき月額					3, 0 0 0 円	

15. 消防団編成表

令和7年3月31日現在

区 分 分団別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
団 本 部	1	3	1					5
第 1 分 団			1	1	2	3	10	17
第 2 分 団			1	1	2	6	12	22
第 3 分 団			1	1	2	6	12	22
第 4 分 団			1	1	2	5	14	23
第 5 分 団			1	1	2	4	17	25
第 6 分 団			1	1		1	2	5
合 計	1	3	7	6	10	25	67	119

16. 消防相互応援協定等の状況

(1) 中讃地区広域市町村圏消防相互応援協定

昭和49年 6月 1日 締結

丸亀市・善通寺市・琴平町・満濃町・琴南町・仲南町・綾歌町・飯山町・仲多度南部消防組合・飯綾消防組合・多度津町

〔平成18年4月1日付、2市3町1広域消防組合〕

(2) 香川県消防相互応援協定

昭和61年12月 1日 締結

5市38町6広域消防組合

〔平成18年4月1日付、8市9町4広域消防組合〕

(3) 香川県防災ヘリコプター応援協定

平成 6年 4月 1日 締結

香川県・5市38町6広域消防組合

〔平成18年4月1日付、8市9町4広域消防組合〕

(4) 携帯電話からの119番通報転送等に関する協定

平成10年10月 1日 締結

中讃地区6消防本部

〔平成18年4月1日付、中讃地区5消防本部〕

(5) 鉄道災害時の安全対策に関する覚書

平成15年12月 1日 締結

県下9消防本部、四国旅客鉄道株式会社

〔平成18年4月1日付、県下8消防本部、四国旅客鉄道株式会社〕

(6) 中讃地区広域市町村圏消防相互応援協定書の運用に係る申し合わせ書

令和 元年11月 1日 締結

〔丸亀市消防本部・多度津町消防本部・善通寺市消防本部〕

(7) 多度津町消防本部と坂出海上保安署との業務協定

令和 2年 5月21日 締結

〔多度津町消防本部、坂出海上保安署〕

予 防

1. 地区別防火対象物一覧表

防火対象物別			地 区 別					合 計
			※埋立地含む 多度津地区	豊原地区	四箇地区	白方地区	島嶼部	
1	イ	劇場等	4					4
	ロ	集会場等	4	3	4	1		12
2	イ	キャバレー等						
	ロ	遊技場等	2	3		1		6
	ハ	性風俗関連特殊店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
3	イ	料理店等						
	ロ	飲食店	9	7	2	2	1	21
4		百貨店等	10	17	3	2		32
5	イ	旅館等	8			6	3	17
	ロ	共同住宅等	46	43	25	5		119
6	イ	病院等	7	7	3			17
	ロ	特別養護老人ホーム等	4	5	1	1		11
	ハ	デイサービス等	5	13	2	8		28
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1	1	1	1		4
7		学校等	22	14	2	1		39
8		図書館等	2					2
9	イ	蒸気浴場等						
	ロ	一般浴場等						
10		車両停車場	4					4
11		神社等	10	6	2	8		26
12	イ	工場等	202	46	30	8		286
	ロ	スタジオ等						
13	イ	車庫等	2	1				3
	ロ	特殊格納庫						
14		倉庫	26	12	15	5		58
15		前各号以外	23	17	11	1		52
16	イ	特定用途の存する複合	8	5				13
	ロ	イ以外の複合用途	2	2	2			6
16の2		地下街						
16の3		準地下街						
17		文化財				1		1
18		アーケード						
合 計			401	202	103	51	4	761

2. 防火対象物と防火管理者

防火対象物別			対象物数		防火管理者 選任義務 対象物数		防火管理者 選任済 対象物数	
			事業所	棟	事業所	棟	事業所	棟
1	イ	劇場等	3	4	3	4	3	4
	ロ	集会場等	10	12	8	10	8	10
2	イ	キャバレー等						
	ロ	遊技場等	6	6	6	6	5	5
	ハ	性風俗関連特殊店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
3	イ	料理店等						
	ロ	飲食店	21	21	16	16	12	12
4		百貨店等	27	32	22	27	20	25
5	イ	旅館等	16	17	9	10	8	8
	ロ	共同住宅等	75	119	14	29	12	27
6	イ	病院等	17	17	7	7	7	7
	ロ	特別養護老人ホーム等	10	11	10	11	7	7
	ハ	デイサービス等	25	28	16	16	16	16
	ニ	幼稚園・特別支援学校	4	4	4	4	4	4
7		学校等	10	39	9	37	9	37
8		図書館等	2	2	2	2	2	2
9	イ	蒸気浴場等						
	ロ	一般浴場等						
10		車両停車場	1	4	1	4	1	4
11		神社等	21	26	5	7	5	7
12	イ	工場等	116	286	21	145	21	145
	ロ	スタジオ等						
13	イ	車庫等	3	3				
	ロ	特殊格納庫						
14		倉庫	41	58	2	8	2	8
15		前各号以外	38	52	5	7	5	7
16	イ	特定用途の存する複合	11	13	6	8	5	7
	ロ	イ以外の複合用途	5	6	1	1	1	1
16の2		地下街						
16の3		準地下街						
17		文化財	1	1	1	1	1	1
18		アーケード						
合 計			463	761	168	360	154	344

3. 中高層建築物用途別棟数調

防火対象物別			棟 数	5階 未満	5階 以上	木 造	準 耐 火	耐 火	そ の 他	15m 未満	15m 以上 30m 未満	30m 以上
1	イ	劇場等	4	4			1	3		2	2	
	ロ	集会場等	12	12		6	3	3		12		
2	イ	キャバレー等										
	ロ	遊技場等	6	6			4	2		6		
	ハ	性風俗関連特殊店舗等										
3	イ	料理店等										
	ロ	飲食店	21	21		10	5	2	4	21		
4		百貨店等	32	32		2	15	7	8	32		
5	イ	旅館等	17	17		9	2	4	2	17		
	ロ	共同住宅等	119	112	7	11	61	25	22	109	8	2
6	イ	病院等	17	15	2	4	4	9		13	4	
	ロ	特別養護老人ホーム等	11	11		2	5	4		9	2	
	ハ	デイサービス等	28	28		12	3	8	5	27	1	
	ニ	幼稚園・特別支援学校	4	4				4		4		
7		学校等	39	38	1	1	2	33	3	34	4	1
8		図書館等	2	2				2		2		
9	イ	蒸気浴場等										
	ロ	一般浴場等										
10		車両停車場	4	4		2	1	1		4		
11		神社等	26	26		21	1	3	1	25	1	
12	イ	工場等	286	286		11	231	25	19	251	34	1
	ロ	スタジオ等										
13	イ	車庫等	3	3			2	1		3		
	ロ	特殊格納庫										
14		倉庫	58	58		5	36	7	10	58		
15		前各号以外	52	51	1	6	17	26	3	46	5	1
16	イ	特定用途の存する複合	13	13		4	2	7		11	2	
	ロ	イ以外の複合用途	6	6		1	5			6		
16の2		地下街										
16の3		準地下道										
17		文化財	1	1		1				1		
合 計			761	750	11	108	400	176	77	693	63	5

4. 各種届出状況

種 別	区 分	届 出 証明件数
消防計画届出書		36
防火管理者選解任届出書		46
圧縮アセチレンガス・液化石油ガス 貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届出書		5
危険物保安監督者選解任届出書		9
危険物の規制に関する届出書		21
少量危険物タンク検査申請書		25
消防用設備等着工届出書		21
消防用設備等設置届出書		57
防火対象物使用開始届出書		15
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備 乾燥設備・サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機 火花を生ずる設備・放電加工機	設置届出書	4
発電・変電・蓄電池設備設置届出書		12
点検報告制度に係る届出書		186
火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届出書		61
煙火打上げ・仕掛け届出書		3
喫煙・裸火使用・危険物品持込み承認申請書		4
道路工事届出書		135
水道断水・減水届出書		2
少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱い届出書		6
少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱い廃止届出書		1
火災・救急等各種証明		7
合 計		656

5. 年次別建築同意事務処理状況

単位：平方メートル

種別	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
新 築	20	10,599.13	10	2,248.36	21	12,373.84	14	7,548.04	13	12,501.88
増 築	6	2,246.90	8	955.29	4	4,756.09	3	3,037.83	1	170.85
改 築					1	428.75			1	645.00
模 様 替										
用途変更					1	467.25				
移 転										
工作物										
昇降機										
修繕							2	1,599.00		
その他	8	11,956.10	2	8,775.64	2	3,638.09	1	2,637.17	2	1,583.10
合計	34	24,802.13	20	11,979.29	29	21,664.02	20	14,822.04	17	14,900.83

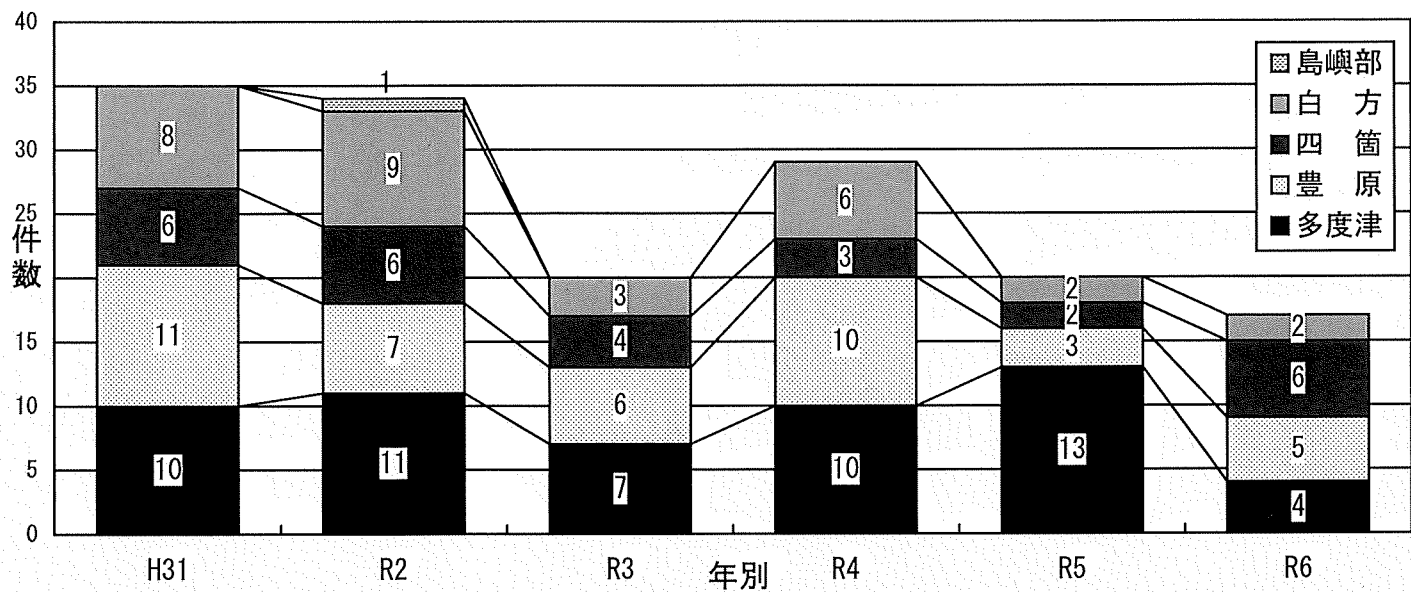
6. 用途別建築同意事務処理状況

月 別 対象名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
病 院													0
障 害 者 設 福 祉 施 設			1										1
共 同 住 宅			1										1
高 等 学 校													0
店 舗													0
寺 院													0
神 社													0
工 場	2				1			1	1	1			6
作 業 所													0
車 庫										1			1
倉 庫													0
コインランドリー													0
事 務 所	1			2				1					4
整 骨 院													0
エステサロン													0
複 合 用 途 防 火 対 象 物													0
一 般 住 宅			1					1					2
長 屋 住 宅				1									1
展 示 場													0
駐 輪 場													0
公 衆 ト イ レ													0
東 屋													0
休 憩 所					1								1
合 計	3	0	3	3	2	0	0	3	1	2	0	0	17

7. 月別建築同意事務処理状況

区分	月別	新 築		増 築		そ の 他		合 計	
		件 数	延面積 (㎡)	件 数	延面積 (㎡)	件 数	延面積 (㎡)	件 数	延面積 (㎡)
住宅 (併用住宅、貸家及び工作物等を含む)	1								
	2								
	3	2	520.45					2	520.45
	4	1	557.96					1	557.96
	5								
	6								
	7								
	8	1	222.21					1	222.21
	9								
	10								
	11								
	12								
	小計	4	1300.62					4	1300.62
消防用設備を必要とする建築物 (指導なしも含む)	1	2	1,204.42			1	420.08	3	1,624.50
	2								
	3			1	170.85			1	170.85
	4	2	634.62					2	634.62
	5	1	130.78			1	1,163.02	2	1,293.80
	6								
	7								
	8	1	11.6			1	645.00	2	656.60
	9	1	8,865.71					1	8,865.71
	10	2	354.13					2	354.13
	11								
	12								
	小計	9	11,201.26	1	170.85	3	2,228.10	13	13,600.21
合計		13	12,501.88	1	170.85	3	2,228.10	17	14,900.83

8. 地区別・年別建築確認申請同意状況グラフ



9. 危険物関係施設数及び事務処理状況

区 分	製	屋	屋	屋	地	簡	移	屋	給	第	第	移	一	そ	合
種 類	造	内	外	内	下	易	動	外	油	一	二	送	般	の	計
施 設 数		26	12	2	20		7	3	12				16		98
設 置 許 可 申 請					5										5
変 更 許 可 申 請		1							1						2
完 成 検 査 (設 置)															0
完 成 検 査 (変 更)			1						1						2
完 成 検 査 (軽 微 変 更)					1				1						2
指 定 数 量 未 満 の タ ン ク 検 査														17	17
完 成 検 査 前 検 査 (水 圧)															0
完 成 検 査 前 検 査 (水 張)															0
完 成 検 査 前 検 査 (溶 接)															0
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱 承 認 申 請		3													3
仮 使 用 承 認 申 請													1		1
取 扱 種 類 ・ 数 量 変 更 届 出		1													1
使 用 休 止 ・ 再 開 届 出															0
廃 止 届 出					3				2				1		6
設 置 者 氏 名 ・ 名 称 等 変 更 届 出		7	7	1	4		1	1					6		27
譲 渡 ・ 引 渡 届 出															0
保 安 監 督 者 選 解 任 届 出		6			1				1				1		9
軽 微 変 更 届 出 書					1				1						2
危 険 物 立 入 検 査		4	3		12				2				2		23
合 計		22	11	1	27		1	1	9				11	17	100

10. 種別・倍数別危険物施設数(第4類)

区分 指定数量の 倍数	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所						合 計
		屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	小 計	給 油	移 送	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	一 般	小 計	
5倍以下		6	3	1	5		6	2	23					5	5	28
5倍を超え 10倍以下		7	1	1	2		1		12	2				7	9	21
10倍を超え 50倍以下		7	8		10			1	26	3				3	6	32
50倍を超え 100倍以下		2			3				5	1				1	2	7
100倍を超え 150倍以下		4							4	3					3	7
150倍を超え 200倍以下																
200倍を超え 1000倍以下										3					3	3
1000倍を超え 5000倍以下																
5000倍を超え 10000倍以下																
10000倍を超え2 0000倍以下																
20000倍を超え 30000倍以下																
30000倍超																
合 計		26	12	2	20		7	3	70	12				16	28	98

1 1 . 消防関係手数料徴収状況

単位 (千円)

月別 手数料別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
設置許可申請	件				1					1			3	5
	金額				26					39			78	143
変更許可申請	件								1				1	2
	金額								26				13	39
設置の完成 検査申請	件													
	金額													
変更の完成 検査申請	件								2					2
	金額								18					18
水圧検査申請	件													
	金額													
水張検査申請	件													
	金額													
(少危)水圧 検査申請	件													
	金額													
(少危)水張 検査申請	件	1	3	1		1	1	4	1	2	2			16
	金額	6	18	6		6	6	24	6	12	12			96
仮 貯 蔵 仮取扱申請	件												1	1
	金額												5.4	5.4
仮 使 用 承認申請	件													
	金額													
各種証明	件					1				1	1		4	7
	金額					0.3				0.3	0.3		1.2	2.1
合 計	件	1	3	1	1	2	1	4	4	4	3		9	33
	金額	6	18	6	26	6.3	6	24	50	51.3	12.3		97.6	303.5

警 防

1. 消防機械器具等

(1) 消防ポンプ自動車

所属	車 名	車 台 製作所	種 別	年 式	級別	ポ ン プ		
						製作所	型 式	
署	1 号 車	日 野	水槽付ポンプ車	2017	A-2	モ リ タ	MZ-1	1段 ポリュート
〃	3 号 車	〃	ポ ン プ 車	2010	A-2	小 川	OS-1	2段 タービン
〃	4 号 車	〃	ポ ン プ 車	2020	A-2	モ リ タ	MZ-1	1段 ポリュート
〃	小 型 1 号	シバウラ	小型動力ポンプ	2014	C-1	シバウラ	C505	1段 タービン

(2) その他の車両

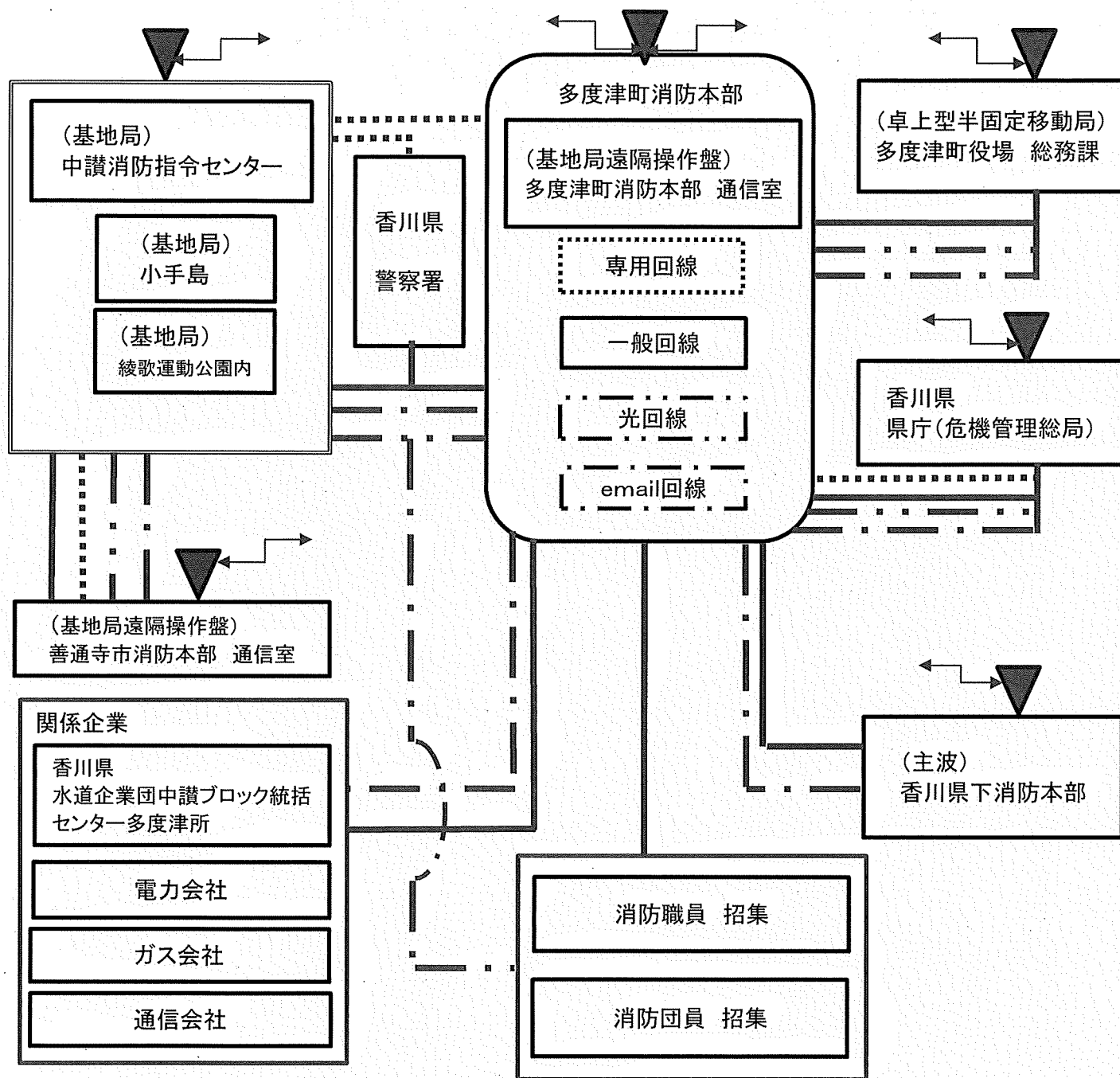
所属	車 名	車台製作所	種 別	年 式
署	2 号 車	日 野	救 助 工 作 車	2022
〃	5 号 車	トヨタ	運 搬 車	2014
〃	6 号 車	〃	指 令 車	2000
〃	7 号 車	マ ツ ダ	〃	2009
〃	8 号 車	ダイハツ	広報・事務連絡車	2017
〃	9 号 車	トヨタ	運 搬 車	1993
〃	救急1号車	〃	高規格救急車	2017
〃	救急2号車	〃	〃	2025

(3) 消防用資器材

品 名	数 量	品 名	数 量
消防用ホース 65mm	170	3t滑車（クレーン用）	1
消防用ホース 50mm	170	携帯用コンクリート破壊器具	2
消防用ホース 25mm	6	可燃性ガス測定器	2
林野火災用背負い式消火水のう	10	空気呼吸器	14
ウォーターチャージャー	1	空気ボンベ（軽量4.7L、8.0L）	40
三連はしご （8.7m×3基7.4m×1基）	4	ガス溶断器	1
かぎ付きはしご （3.6m×1基3.1m×3基）	4	アセチレンボンベ（溶断用）	1
金属製折り畳みはしご（11m）	1	酸素ボンベ（溶断用）	3
救命索発射銃	1式	送排風機	1
レスキューショット	1	プロパック	2
大型油圧救助器具（Eg式、電動式）	2式	防じんマスク	5
電動救助器具（オグラ）	1式	水難救助用資機材	6式
削岩機（Eg式）	2式	山岳救助用資機材（高所支点器含む）	1式
電動ドリル	1	マット型空気ジャッキ（手動式含む）	3式
チェンソー	2	救助用支柱器具	2式
エンジンカッター	5	可搬ウインチ	1
バスケット担架（分離型1式含）	2	ポータブルCAFS（武蔵）	2
スケッドストレッチャー	1	画像探索機	1
滑車	5	熱画像探知器	3
緩降機	5	応急処置セット	1
ハーネス（フルボディ、シット）	各5	張力計	2
救助用縛帯（ベストスリング）	2	浮標	2
ドア開放ツール（手動式）	1	発電機	5
鉄線カッター	5	投光器（可搬型6個、携帯型24個）	30
エアソー	1	携帯拡声器	7
エアバックセーフ	2	化学防護服	14
		耐電手袋	15

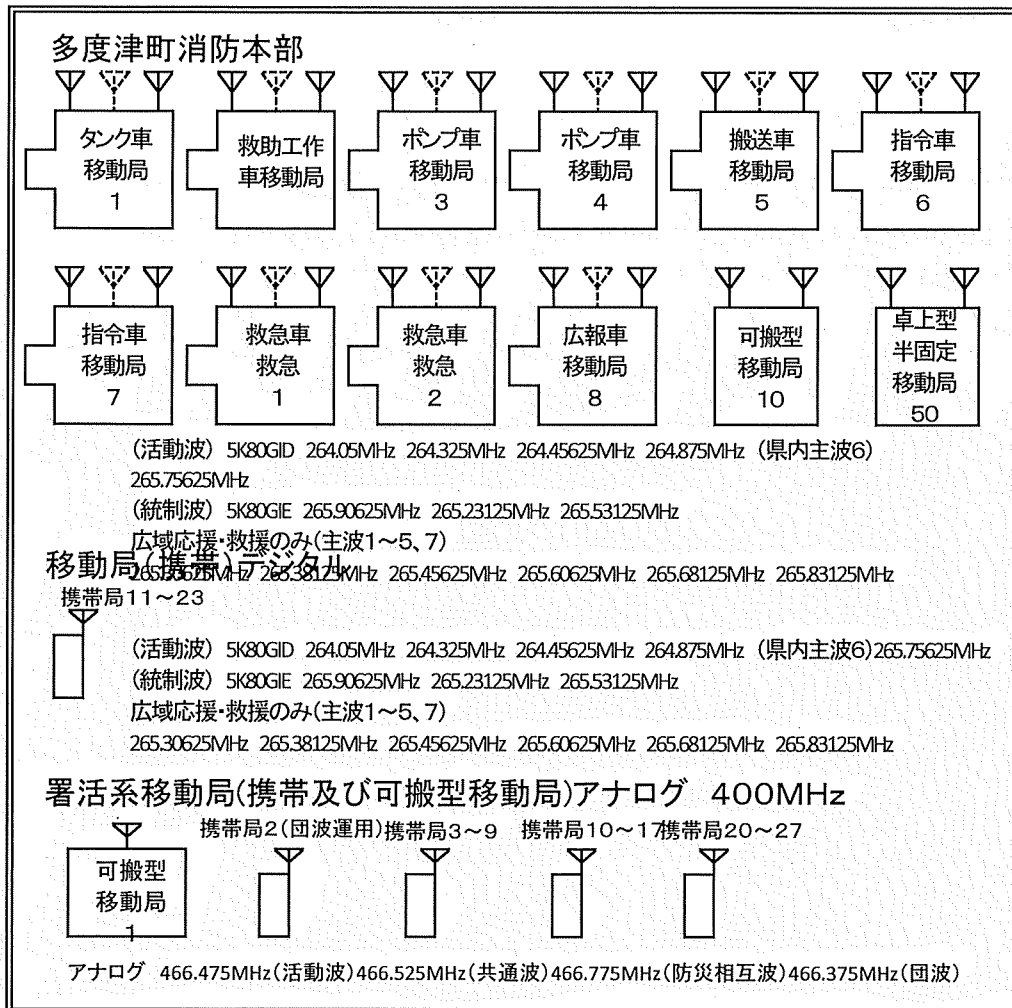
2. 通信系統図

(1) 多度津町消防本部及び各関係機関

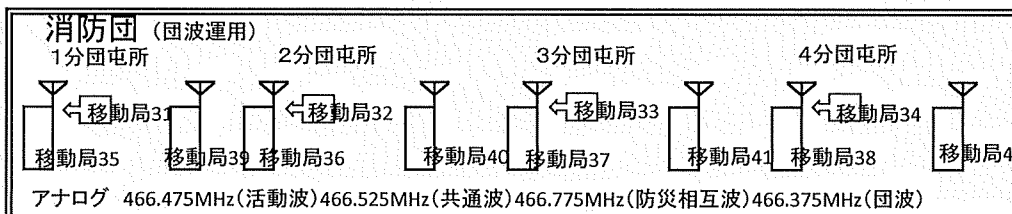


凡例	一般回線	—————
	専用回線	
	光回線	— . . . — . . . — . . . — . . .
	email回線	— . — . — . — . — . — .

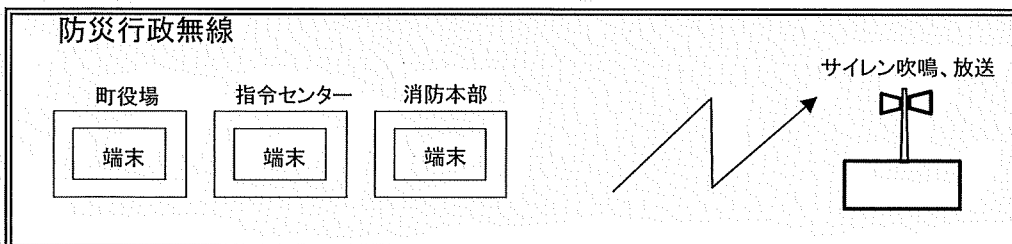
(2) 移動局



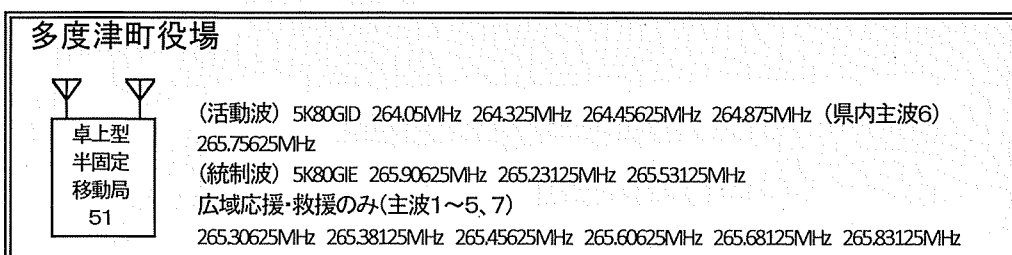
多度津町消防本部や
中讃消防指令センター
各移動局等との交信



多度津町消防本部や
各移動局との交信



防災行政無線で災害
時のサイレン吹鳴、放
送等を行う



多度津町消防本部
との交信

3. 無線施設一覧表

(1) 署活系無線機（アナログ）

局種	型 式	活動波	共通波	防災波	団 波	緊援隊 G1～G17	呼 出 名 称	設置場所	購 入 年 月 日
陸上移動局	IC-UH2010MFT	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ1	消 防 本 部	H27. 3. 27
	IC-UH37MFT	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ2	〃	H25. 3. 22
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ3	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ4	〃	〃
	〃	○	○	○	○	○	たしゅうしゃかつ5	〃	〃
	〃	○	○	○	○	○	たしゅうしゃかつ6	〃	〃
	IC-UH38MFT	○	○	○	○	○	たしゅうしゃかつ7	〃	H30. 10. 22
	〃	○	○	○	○	○	たしゅうしゃかつ8	〃	〃
	〃	○	○	○	○	○	たしゅうしゃかつ9	〃	〃
	IC-UH37MFT	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ10	〃	H25. 3. 22
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ11	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ12	〃	〃
	IC-UH38MFT	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ13	〃	H27. 3. 27
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ14	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ15	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ16	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ17	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ20	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ21	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ22	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ23	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ24	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ25	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ26	〃	〃
	〃	○	○	○	○		たしゅうしゃかつ27	〃	〃

(1) 署活系無線機（アナログ）

局種	型 式	活動波	共通波	防災波	団 波	緊援隊 G1～G17	呼 出 名 称	設置場所	購 入 年 月 日
陸上移動局	IC-UH2010MFT	○	○	○	○		たしよしよかつ31	第 1 分団	H27.3.27
	"	○	○	○	○		たしよしよかつ32	第 2 分団	"
	"	○	○	○	○		たしよしよかつ33	第 3 分団	"
	"	○	○	○	○		たしよしよかつ34	第 4 分団	"
	IC-UH38MFT	○	○	○	○		たしよしよかつ35	第 1 分団	R 1 . 8 . 7
	"	○	○	○	○		たしよしよかつ36	第 2 分団	"
	"	○	○	○	○		たしよしよかつ37	第 3 分団	"
	"	○	○	○	○		たしよしよかつ38	第 4 分団	"
	IC-DU60S3	○	○	○	○		たしよしよかつ39	第 1 分団	R3.10.31
	"	○	○	○	○		たしよしよかつ40	第 2 分団	"
	"	○	○	○	○		たしよしよかつ41	第 3 分団	"
	"	○	○	○	○		たしよしよかつ42	第 4 分団	"

(2) デジタル無線機

局種	型 式	消防波 1～4	主波 1～7	統制波 1～3	呼出名称	設置場所	購入年月日
卓上型固定 移動局	JEZ-1920-B	○	○	○	たどつしょうぼう50	消防本部	H25.3.22
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう51	消防本部 保 管	〃
車載型陸上移動局	JDC4H1A1-1D	○	○	○	たどつしょうぼう1	消防本部	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう2	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう3	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう4	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう5	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう6	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう7	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつきゅうきゅう1	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつきゅうきゅう2	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつきゅうきゅう3	〃	〃
可搬型陸上 移動局	JDT4C3A1-3A	○	○	○	たどつしょうぼう10	消防本部 (携帯)	〃
携帯型陸上移動局	NE2-5M010/G-B	○	○	○	たどつしょうぼう11	消防本部	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう12	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう13	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう14	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう15	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう16	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう17	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう18	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう19	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう20	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう21	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう22	〃	〃
	〃	○	○	○	たどつしょうぼう23	〃	〃

4. 消防水利状況

区分 地域別			消 火 栓						公設防火水槽					合計	
			50 mm	75 mm	100 mm	150 mm	200 mm	300 mm	小計	40t 未満	40t	60t	100t		小計
市 街 地				108 (68)	83 (55)	97 (96)	65 (64)	5 (5)	358 (288)		13 (13)	2 (2)	2 (2)	17 (17)	375 (305)
市 街 地	標準	葛原 1 (八幡、小塚、下所、 永井、めぐみ団地)		12 (4)		18 (18)			30 (22)						30 (22)
		庄 (修理免、笠屋) 2 青木 (本村、青木団地) 三井		16 (9)	16 (8)	15 (15)	15 (15)		62 (47)		2 (2)			2 (2)	64 (49)
	街	山階 (上、小原、下所、 3 本村、向井、佃、 岡、天霧団地、 兵田、阿庄、西村)		19 (4)	19 (2)	11 (11)	4 (4)		53 (21)			1 (1)		1 (1)	54 (22)
		小 計		47 (17)	35 (10)	44 (44)	19 (19)		145 (90)		2 (2)	1 (1)		3 (3)	148 (93)
その他の地域			2	20 (1)	37 (4)	5 (5)	2 (2)		66 (12)	1	15 (14)	2 (2)		18 (16)	84 (28)
合 計			2	175 (86)	155 (69)	146 (145)	86 (85)	5 (5)	569 (390)	1	30 (29)	5 (5)	2 (2)	38 (36)	607 (426)

※()内は、消防水利基準に適合した水利個数

5. 気象情報発令状況

月別 種別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
火災気象通報		14		17	4	12	7		8	5	2	9	28	106
注 意 報	強 風	3		3		1	2		1	1	1	3	6	21
	波 浪	3		3		1	2		1	1	1	3	5	20
	風 雨													
	大 雨					2	5	3	1	4	2	1		18
	洪 水					2		3	2	4				11
	乾 燥	5		4		4							6	19
	雷	3	4	6	4	5	9	13	12	11	5	3	5	80
	濃 霧		1	3	4		1	2						11
	大 雪													
	風 雪													
	高 潮						3	3	2	1	2	3		14
	霜			15	1									16
	異常低温													
	着 雪													
	低 温													
	津 波													
合 計		14	5	34	9	15	22	24	19	22	11	13	22	210
警 報	暴 風													
	暴 風 雪													
	大 雨					1		1	1	1				4
	洪 水					1				1				2
	大 雪													
	波 浪													
	高 潮													
	浸 水													
	そ の 他													
合 計		0	0	0	0	2	0	1	1	2	0	0	0	6

6. 消防団機械配置状況

分団別	種別	級別	型式	年式	ポンプ	警鐘台	屯所	ホース
団本部	小型動力ポンプ付積載車（軽四輪）		ダイハツEBD-S331W	2017				37 (8) [15]
	広報車（軽四輪）		日産HBD-DR17V	2018				
	小型動力ポンプ	D-1	ラビットP265M	2005	一段タービン			
	小型動力ポンプ	B-2	ラビットP555DAN	2017	一段タービン			
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツV56BS	1996	一段タービン			
第1分団	ポンプ自動車	A-2	日野 デュトロ TPG-XZU600E	2017	一段ボリュート		1	40
第2分団	小型動力ポンプ付救助資機材搭載車		いすゞTKG-NH85AN	2014		1	1	31
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツV56BM	1996	一段タービン			
	小型動力ポンプ	B-3	シバウラSF651AZi	2012	一段タービン			
	小型動力ポンプ	B-2	トーハツVF63AS	2014	一段タービン			
第3分団	小型動力ポンプ付救助資機材搭載車		いすゞBKG-NHS85A	2010		1	1 (1)	38
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツV38CS	1990	一段タービン			
	小型動力ポンプ	B-2	シバウラSF756AZ	2010	一段タービン			
第4分団	ポンプ自動車	A-2	日野デュトロ 2RG-XZU600E	2022	二段タービン	2	1 (2)	50
	小型動力ポンプ	B-3	ラビットP408RS	1994	一段タービン			
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツV55BSX	2007	一段タービン			
	小型動力ポンプ	C-1	シバウラFT300	2022	一段タービン			
第5分団	小型動力ポンプ付積載車（軽四輪）		三菱GBD-U62V	2015		1	1 (2)	34 (49)
	小型動力ポンプ	C-1	ラビットP380L	1996	一段タービン			
	小型動力ポンプ	B-2	シバウラSF756AZ	2008	一段タービン			
	小型動力ポンプ	B-3	シバウラSF651AZi	2015	一段タービン			
	小型動力ポンプ	B-2	シバウラFF500	2020	一段タービン			
第6分団	小型動力ポンプ付積載車（軽四輪）		スズキ3BD-DA16T	2023		2	2	39 (54)
	小型動力ポンプ	B-3	ラビットP461S	1994	一段タービン			
	小型動力ポンプ	C-1	ラビットP380L	1995	一段タービン			
	小型動力ポンプ	C-1	ラビットP380L	1996	一段タービン			
	小型動力ポンプ	B-2	シバウラFF500	2021	一段タービン			
	小型動力ポンプ	B-2	シバウラFF500AS	2023	一段タービン			
合 計	広報車（軽四） 1台 ポンプ自動車 2台 小型動力ポンプ付積載車（軽四） 3台 小型動力ポンプ付救助資機材搭載車 2台 救助資機材（エンジンカッター、チェーンソー） （油圧カッター） 2台 （ストライカー） 1台 小型動力ポンプ B-2 7台 小型動力ポンプ B-3 8台 小型動力ポンプ C-1 4台 小型動力ポンプ D-1 1台 特定省電力トランシーバー 15台					7	7 (5)	259 (111) [15]

※ホース（ ）内は50ミリホース、〔 〕内は40ミリホース、屯所（ ）内は機械器具置場

救 急

1. 救護訓練指導状況

月日	対 象 団 体	実施時間 (分)	対象 人員	出向 人員	指 導 種 類
1. 18	硯ヶ丘協同組合	90	8	5	総合訓練
1. 24	桃陵苑	180	14	5	普通救命講習
3. 14	瀬戸内企業協同組合	90	3	8	総合訓練
4. 18	(株)タダノアイレック	60	15	7	応急救護訓練
5. 8	豊原小学校	75	25	8	〃
5. 14	多度津町役場	60	17	8	〃
5. 16	硯ヶ協同組合	90	7	8	総合訓練
5. 22	愛光こども園	60	20	7	応急救護訓練
5. 28	豊原幼稚園	60	23	8	〃
5. 30	三井保育所	60	22	8	〃
6. 17	豊原保育所	60	20	8	〃
6. 21	多度津幼稚園	60	19	8	〃
7. 17	硯ヶ丘協同組合	90	3	8	総合訓練
7. 30	西野金陵	60	21	8	応急救護訓練
8. 26	硯ヶ丘協同組合	90	4	7	総合訓練
9. 9	救急の日に伴う普通救命講習	180	21	7	普通救命講習
9. 17	硯ヶ丘協同組合	90	12	4	総合訓練
9. 25	瀬戸内企業協同組合	60	6	8	〃
10. 22	硯ヶ丘協同組合	90	11	8	〃
11. 13	川田工業(株)	60	30	7	応急救護訓練
11. 14	四国開発建設(株)高松営業所 多度津駐在	60	15	4	〃
11. 15	多度津中学校職場体験 多度津町文化体育振興事業団	180	6	7	普通救命講習
11. 24	東白方原戸自治会自主防災会	75	10	4	応急救護訓練
12. 3	硯ヶ丘協同組合	90	8	8	総合訓練
12. 11	四国計測工業	90	300	8	〃
合 計	25団体	2160	640	176	

2. 救急資器材

(1) 観察用資器材

品名	型式等	数量	品名	型式等	数量
聴診器	高感度	3	救急モニター	ライフメイトWEC-6003	1
	クラシック	3		BSM-1763	1
血圧計	H610	1		BSM-3562	1
	電子型エレマノ	4	パルスオキシメーター	マシモ Rad-5V	3
喉頭鏡	マッキントッシュ型	5		マシモ Rad-G	1
	薄型フレッド	4		オニックス2	1
ビデオ喉頭鏡	エアウェイスコプ AWS-S100L	1	体温計	テルモ電子体温計	5
	エアウェイスコプ AWS-S200NK	2	血糖値測定器具	メディセーフフィット	4
CO2モニター	ハントヘルド	1			
	カフノチェックII				

(2) 呼吸・循環管理用資器材

品名	型式等	数量	品名	型式等	数量
除細動器	カルシオライフS TEC-2603	1	携帯用人工呼吸器	オキシレータEM-100	1
	ハートスタート FR3 Pro	2		オキシバックNSY型	1
自動心臓マッサージ器	LUCAS 3	2		オートベント2000	1
手動式心臓マッサージ器	アンプカーティオホンプ	1	酸素吸入器	インハレーター2	2
				モデル301J	1
手動式人工蘇生器	シリコンレサシテーター	1	酸素ポンプ	2リットル	9
	アンプマークIV	4		10リットル	9
	アンプ蘇生バック (新生児用)	4	電動式自動吸引器	LSU4000	2
人工呼吸器				パワーミニックII	1
			手動式吸引器	エマージェンシーアシピレーター	1
				レスキューホンプ	1
			静脈ライン	ベインラインEMS	2
人工呼吸器	クルーズ21	1	減圧弁	FLW2	2
	ハラバックプラス300	1			
	メデュマット・イーゼー・CPR	1			
	ライトキャリッジセット	1			

(3) 創傷等保護用資器材

品名	型式等	数量	品名	型式等	数量
簡易固定器具	スピートスプリント	12	ファerno・ケット	モデル125	2
頸部固定用副子セット	スティッフネック	12	ヘッド・イモビライザー	モデル445	4
			圧力計付止血帯	ユニバーサル	1
骨盤固定整復装具	サムスリング II	4			

(4) 搬送用資器材

品名	型式等	数量	品名	型式等	数量
エクステンシブシステム担架	ファernoモデル4080/4155	3	固定ベルト	ファernoモデル用	3
				65EXL用	1
コンビネーション担架	ファernoモデル107	1	スクーフ担架	モデル65	3
	ファernoモデル107-C4	2		65EXL	3
バックボート	ファernoモデル2010	6	布担架	ターボリン	8
ショートボート	フロライトKOM800-BSC	2	衝撃吸収マットレス	Softenマット	2
ハーネス	イージーリフトハーネス	1			
フライングシー保護カバー	PPカバー	2			

(5) 通信・電話資器材

品名	型式等	数量	品名	型式等	数量
タブレット端末	i pad PRO	1	携帯電話	ドコモ KY-42C	3
	i pad	3			

(6) 教育訓練用資器材

品名	型式等	数量	品名	型式等	数量
高度救命処置	高研LM-051AB	1	心肺蘇生訓練人形	JAMY-IV RECO (成人用)	1
シミュレーター	高研セーフマンLM-073	1		JAMY-VI RECO (成人用)	1
静脈・採血注射モデル	アソブIVトレーナー	1		ACTAR 911型	10
	I型 LM-028	1		レサシベビ	1
AEDトレーナー	レールダールAEDトレーナー-2	2		JAMY II-i	1
	LIFEPACK CR-T	3		JAMY (胴モデル)	1
	AEDトレーナー-3	1		JAMY II baby-N	2
救急DVD	あなたの勇気が、命を救う	4		リトル アソQCPR	1
気道管理モデル	レールダールTR-801-01	1		リトル ベビ-QCPR	1
	高研LM-059	1			

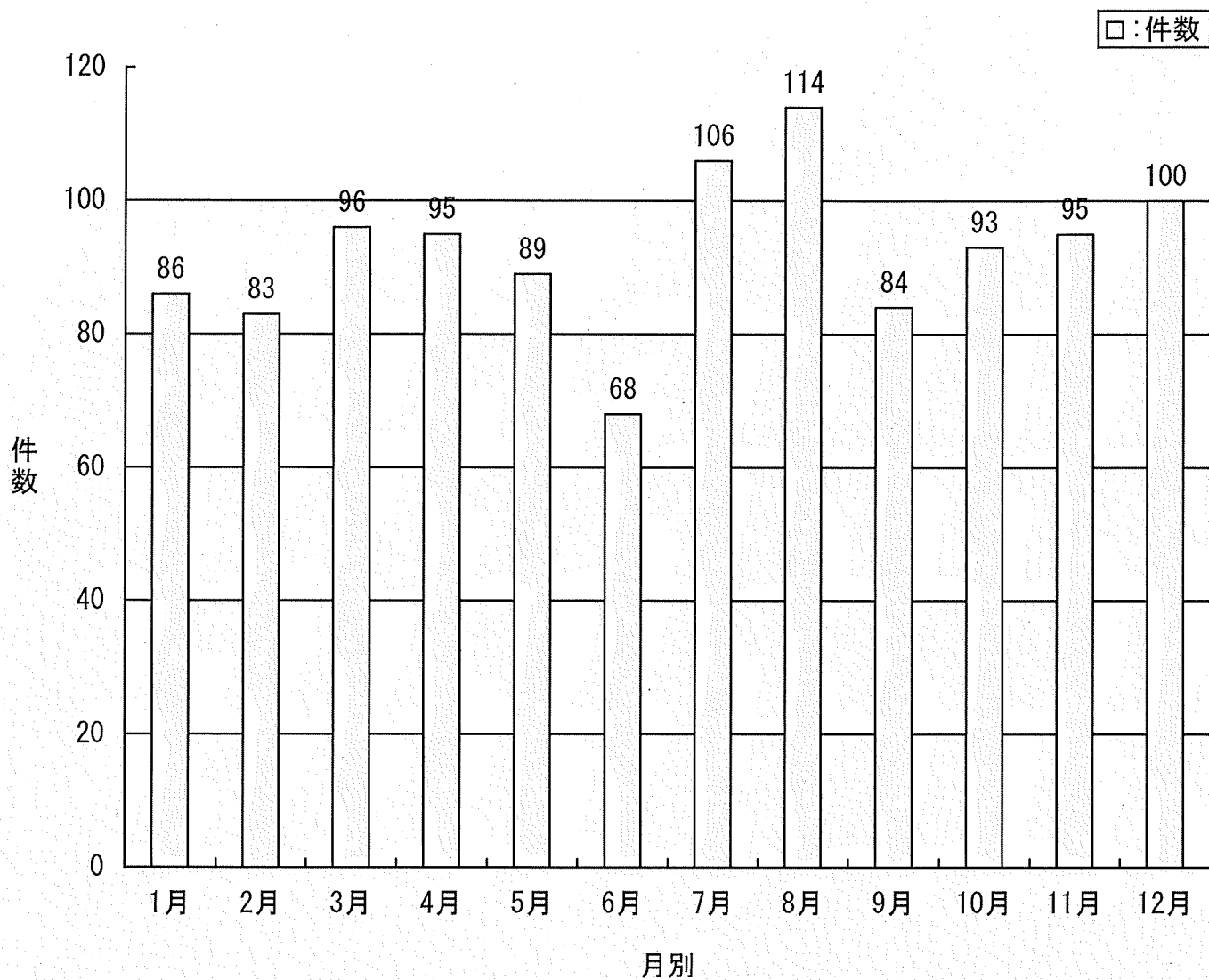
(7) 滅菌・感染防止・防御資器材

品名	型式等	数量	品名	型式等	数量
高圧蒸気滅菌器	エルクレーフ フルオート	1	妨害感染防止ヘルメット	FD4-FN-LP	6
	MAC-560		防刃ベスト	NT-2H-AMBS-2	6
空気殺菌脱臭除菌装置	オゾンUVエアクリアー	1	オゾン消毒器	オゾン水発生装置 (本体付属品) キャリー、専用ホース、接続アタッチメント	1
	OUV-2				
殺菌線ロッカー	DN-188	1			
空間除菌装置	リクリア専用 霧化式空間除菌装置 IR-10	2			

(8) その他の資器材

品名	型式等	数量	品名	型式等	数量
電動リングカッター	エレクトリックリング	1	自動膨張式救命浮輪	ライフホール・S	1
	カッターシステム GEM		AED用バッテリー	FR3用予備バッテリー	2
救急カッター	S-CUT	1	ハートメイト (携帯用)	SB-170P 予備バッテリー	1
呼吸回路固定アーム	VBMサポートアーム	1			
リチウムイオンバッテリー	TEC-2603 カルジオライフS (予備バッテリー)	2			

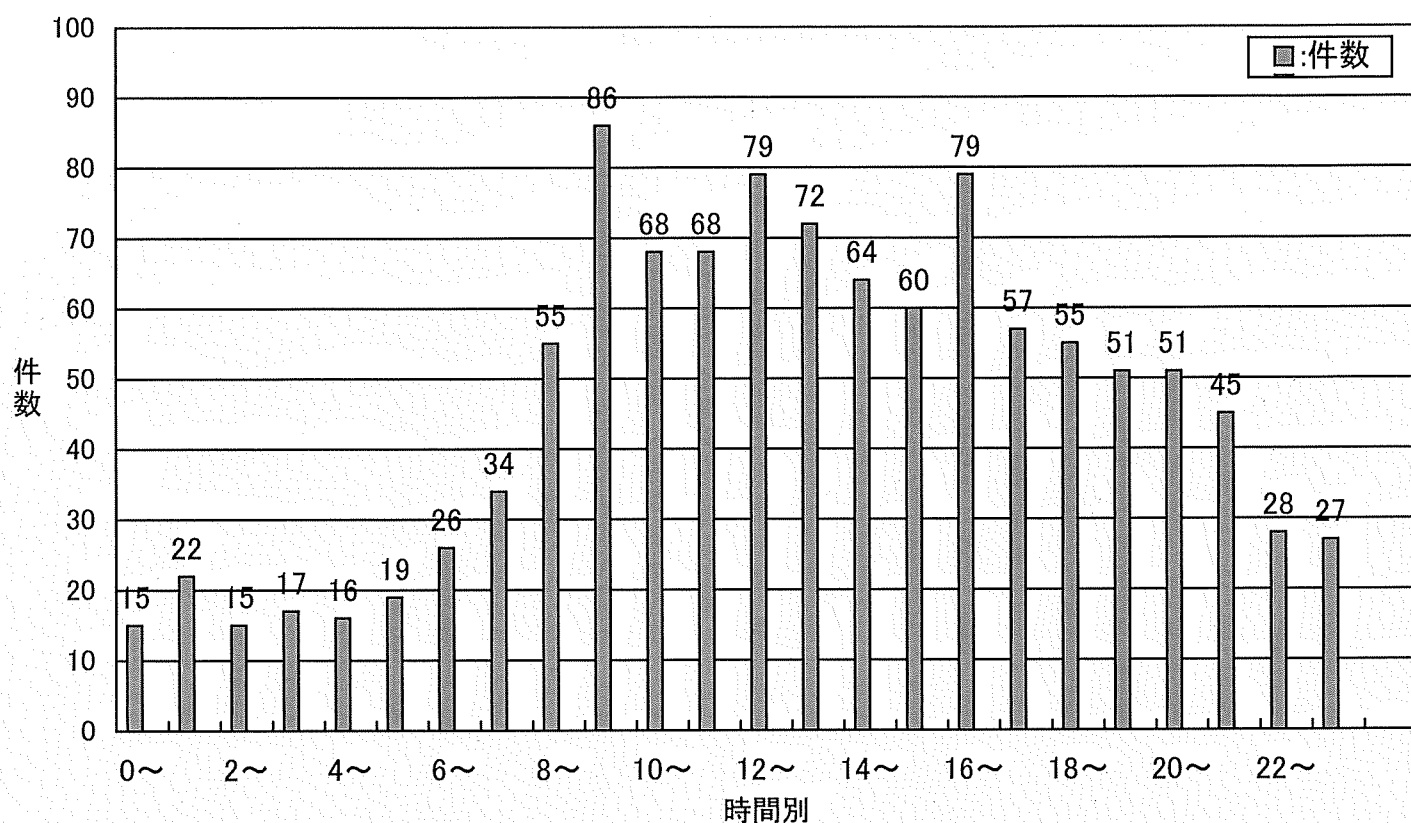
3. 月別救急出動状況グラフ



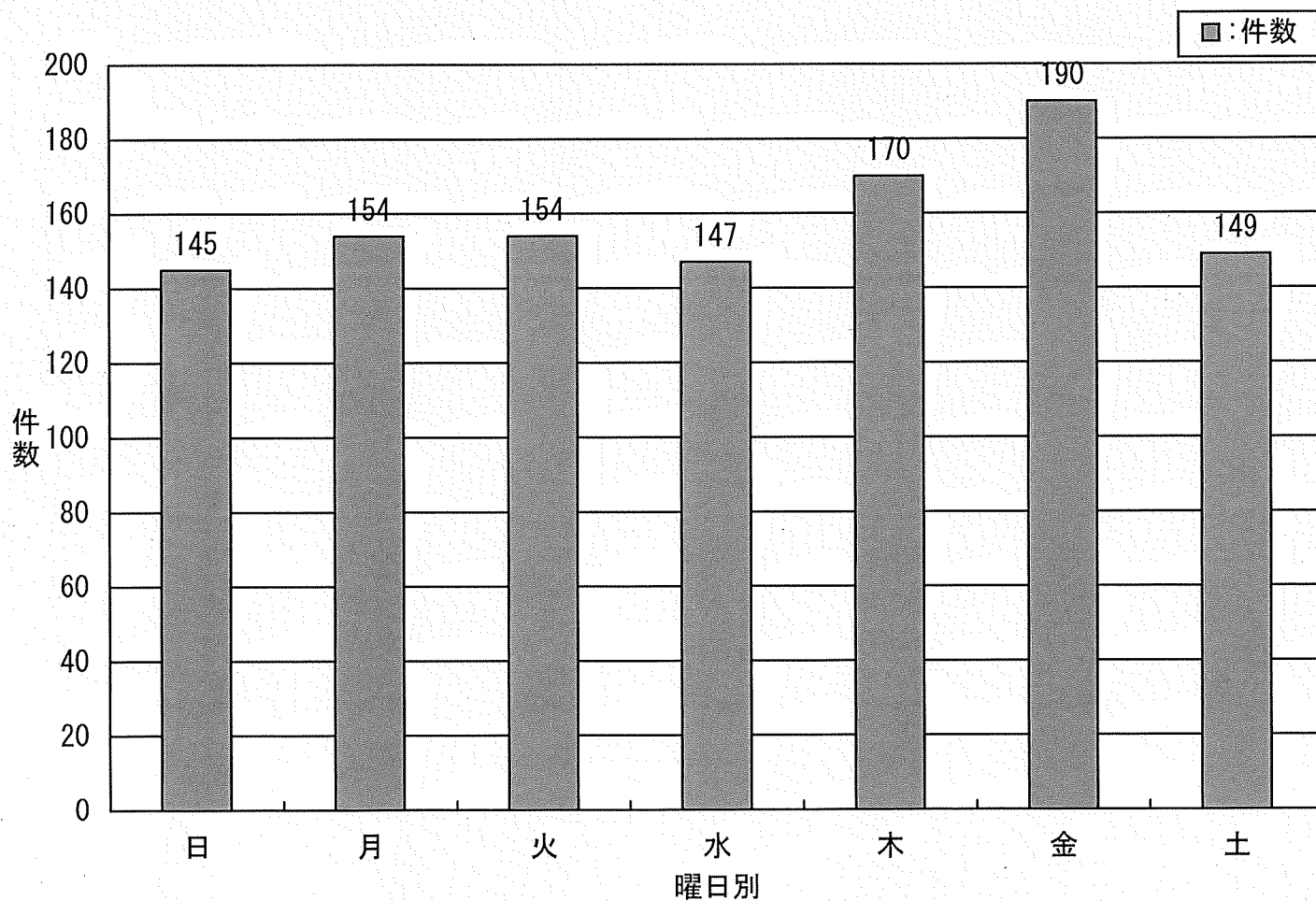
4. 月別救急発生状況

月別	事故別 区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	医師搬送	転院搬送等	その他	合計	不搬送
1	出動件数				3	1		15	1		57		9		86	2
	搬送人員				3	1		15	1		55		9		84	
2	出動件数				3			14			53		13		83	5
	搬送人員				3			14			48		13		78	
3	出動件数				3	4		14	2		60		13		96	4
	搬送人員				3	4		14	2		56		13		92	
4	出動件数				5			19		1	54		14	2	95	4
	搬送人員				5			19		1	52		14		91	
5	出動件数				4	3		16		1	56		8	1	89	4
	搬送人員				4	3		15		1	54		8		85	
6	出動件数				1	2		7		2	46	1	8	1	68	5
	搬送人員					2		7		2	44		8		63	
7	出動件数				6	1	1	13	1		75		6	3	106	11
	搬送人員				8	1	1	11	1		69		6		97	
8	出動件数				7	1		10			83		12	1	114	5
	搬送人員				7	1		10			80		12		110	
9	出動件数				8	2		13		1	55		5		84	3
	搬送人員				8	2		13		1	52		5		81	
10	出動件数				11	2		14		1	55		8	2	93	6
	搬送人員				11	2		13		1	52		8	1	88	
11	出動件数				3	1		13		1	70		7		95	2
	搬送人員				3	1		12		1	69		7		93	
12	出動件数				5	2		22			62		9		100	5
	搬送人員				6	2		21			58		9		96	
合計	出動件数				59	19	1	170	4	7	726	1	112	10	1109	56
	搬送人員				61	19	1	164	4	7	689		112	1	1058	

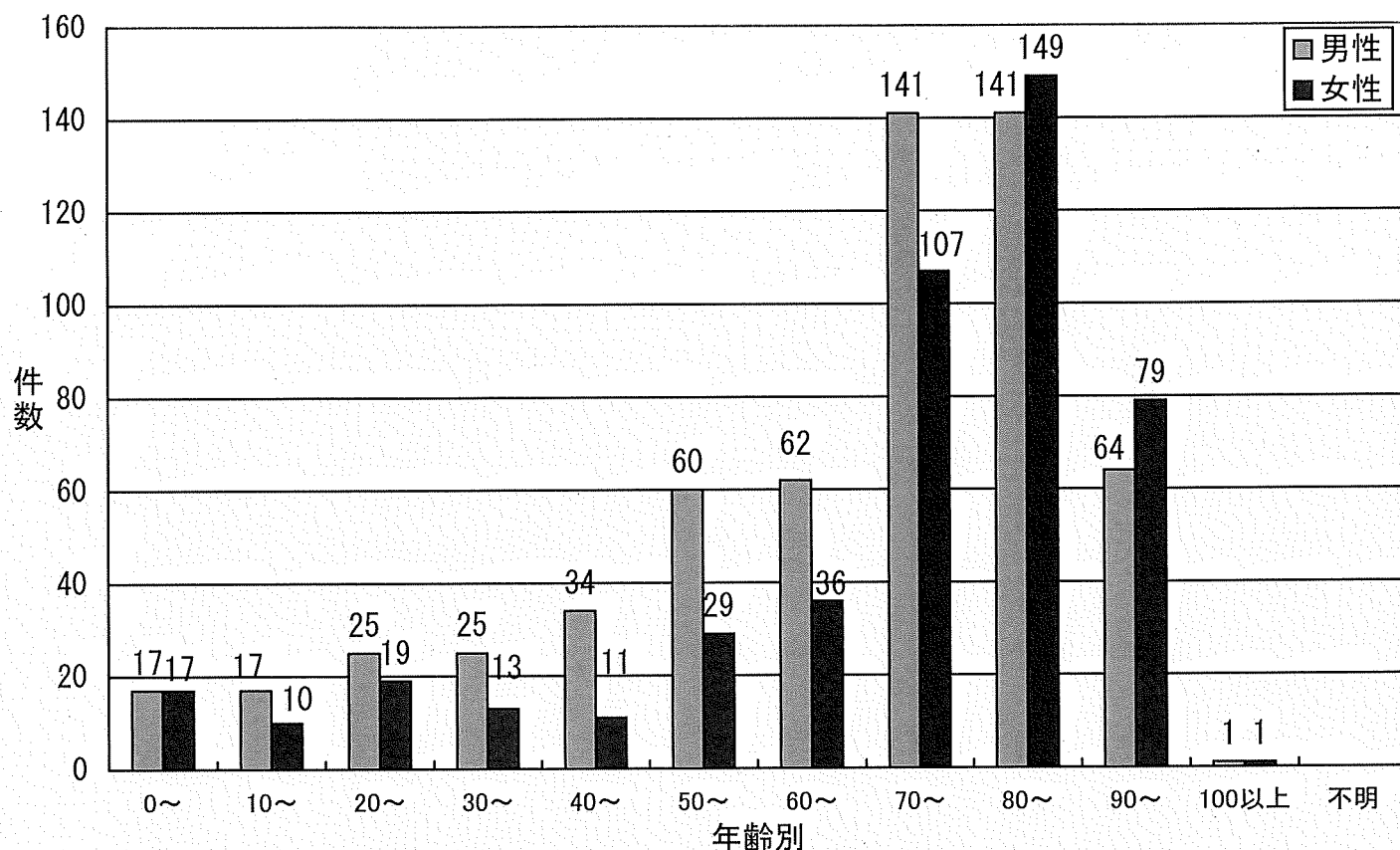
5. 時間別救急出動状況グラフ



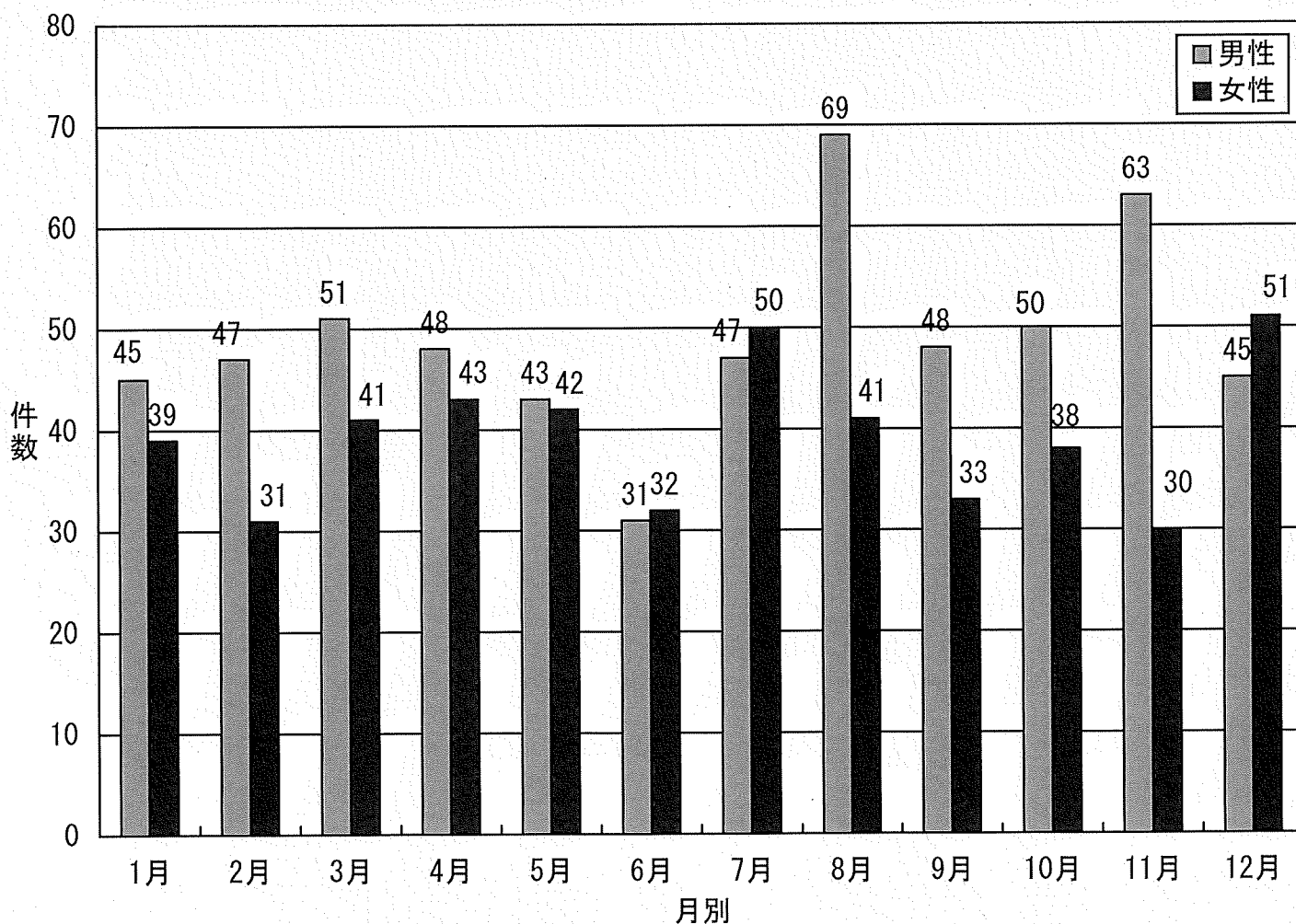
6. 曜日別救急出動状況グラフ



7. 年齢別・性別救急搬送状況グラフ



8. 月別・性別救急搬送状況グラフ



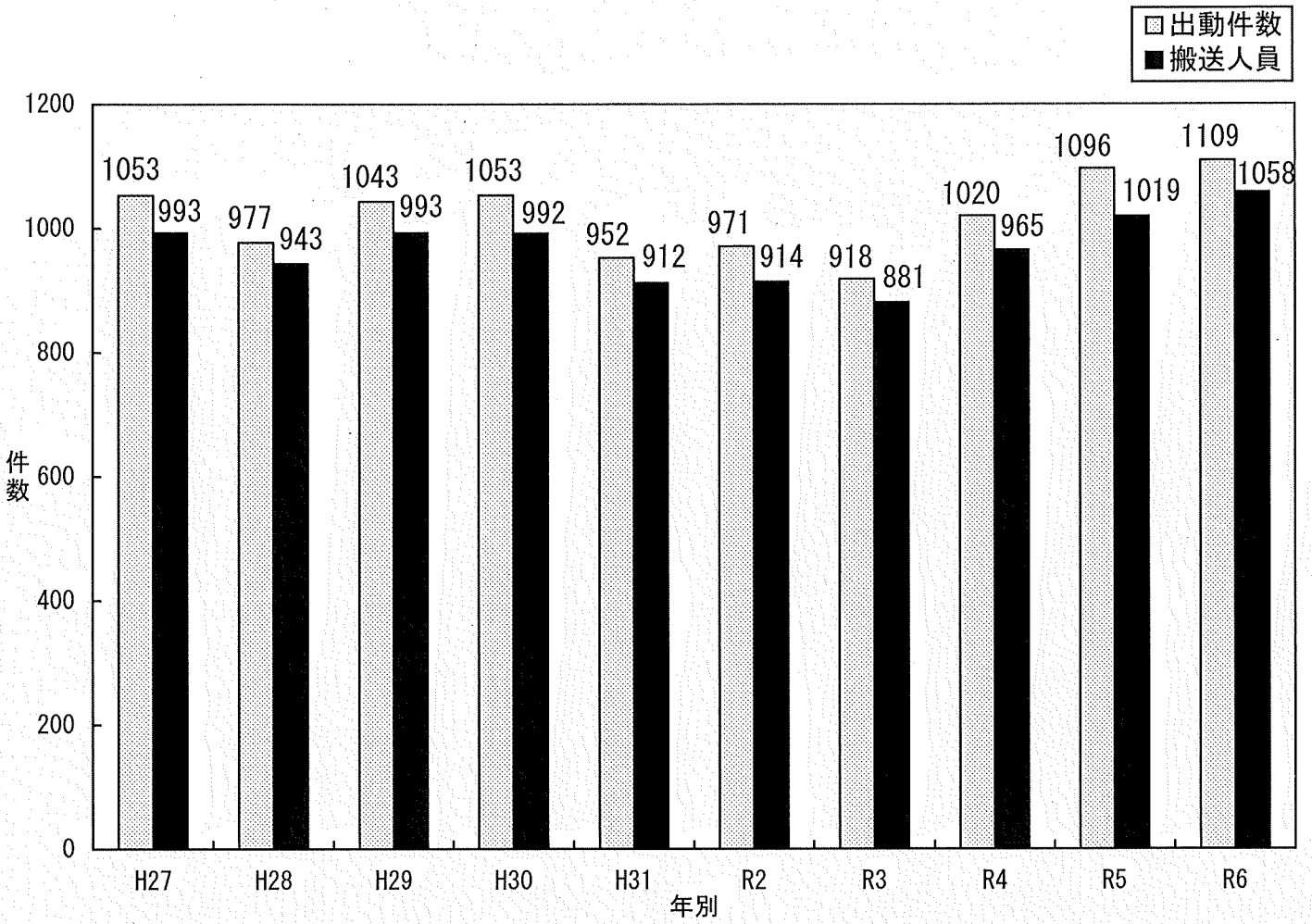
9. 市町村別収容状況（搬送人員）

事故別 市町村別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損行為	急 病	そ の 他	合 計
多度津町				8	2		14			48	2	74
丸亀市				13	5		65	2	3	298	50	436
善通寺市				29	5	1	45	2	1	212	35	330
坂出市				6	5		35			87	19	152
高松市				1	2		1		1	16	2	23
三豊観音寺				2			3		1	25	3	34
仲多度郡												
その他				2			1		1	3	2	9
合 計				61	19	1	164	4	7	689	113	1058

10. 被收容者住所別救護状況（搬送人員）

事故別 市町村別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損行為	急 病	そ の 他	小 計	合 計
多度津町	男			21	6		57		2	358	46	490	903
	女			21			90	1	4	262	35	413	
高松市	男				2					2	1	5	9
	女				1		1			2		4	
坂出市	男				1			1		1		3	3
	女												
丸亀市	男			5	1		6	2		14	11	39	56
	女			1			2			7	7	17	
善通寺市	男			3	2				1	7	2	15	29
	女			1						6	7	14	
観音寺市	男			1			1			4		6	7
	女			1								1	
三豊市	男			2	1					7	1	11	21
	女			1	2		1			4	2	10	
仲多度郡	男			1	1							2	3
	女			1								1	
他 県 内	男			1			1			1	1	4	7
	女						1			2		3	
県 外	男				2	1	3			5		11	19
	女						1			7		8	
国 外	男			1								1	1
	女												
不 明	男												
	女												
合 計	男			35	16	1	68	3	3	399	62	586	1058
	女			26	3		96	1	4	290	51	472	

1 1. 年別救急出動状況グラフ



1 2. 病院紹介

区分 月別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
1					0
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
11					0
12					0
合計	0	0	0	0	0

1 3. 傷病程度別搬送人員

事故別 傷病程度別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損行為	急 病	そ の 他	合 計	比 率
軽 症				37	5		68	2		302	17	431	40.74%
中等症				22	8	1	69	2	4	318	83	507	47.92%
重 症				1	5		26		3	58	13	106	10.02%
死 亡				1	1		1			11		14	1.32%
合 計				61	19	1	164	4	7	689	113	1058	100.0%

1 4. 病院収容時間別搬送人員（覚知～収容）

事故別 収容時間別	急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他	（ 火 災 自 然 災 害 加 害 運 動 損 害 そ の 他 ）	合 計	比 率
10分未満							
10分以上 20分未満	5	1	2		1	9	0.85%
20分以上 30分未満	100	3	12		47	162	15.31%
30分以上 60分未満	495	47	125		85	752	71.08%
60分以上 120分未満	81	10	24		9	124	11.72%
120分以上	8		1		2	11	1.04%
合 計	689	61	164		144	1058	100.0%

15. 救急資料

1. 各件数

区分 年別	出動件数	搬送人員
令和5年	1096	1019
令和6年	1109	1058
前年比	+13	+39

2. 事故別出動件数

区分 年別	急病	交通	一般	その他	合計
令和5年	732	51	166	147	1096
令和6年	726	59	170	154	1109
前年比	-6	+8	+4	+7	+13

3. 収容時間別搬送人員

区分 年別	30分未満		30分以上～60分未満		60分以上	
	人員	比率	人員	比率	人員	比率
令和5年	191	18.7%	714	70.1%	114	11.2%
令和6年	171	16.2%	752	71.1%	135	12.7%

4. 重複件数（救急のみ）

区分 年別	件数	比率
令和5年	171	15.6%
令和6年	146	13.1%

5. 疾病分類別救急内容（急病搬送人員）

区分 年別	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	その他	合計
令和5年	57	57	73	58	430	675
令和6年	65	54	78	64	428	689

6. 平日及び日祭日別救急出動件数

区分 年別	平日		日・祭日		合計
	件数	比率	件数	比率	件数
令和5年	896	81.8%	200	18.2%	1096
令和6年	900	81.2%	209	18.8%	1109

16. 救助活動状況

事故種別 区分	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	その他	合 計
出動件数				4	1	6	11
活動件数				2	1	5	8
出動人員				52	14	79	145

17. 救助事故発生場所状況

事故種別 区分	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	その他	合 計
屋 内	住 居					2	2
	その他屋内						
屋 外	道 路	高架橋					
		その他		2			2
	水 面	内水面					
		外水面		2		2	4
	山 岳						
	その他屋外				1	2	3
そ の 他							
合 計				4	1	6	11

火災統計

1. 火災状況

区 分	全 火 災	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	その他火災
件 数	10件	4件	0件	0件	0件	6件
焼 損 面 積	1726.74㎡	562㎡	—	—	—	1164.74㎡
損 害 額	17,754千円	17,754千円	0千円	0千円	0千円	0千円
焼 損 棟 数	罹 災 世 帯 数		罹 災 者 数		死 傷 者 数	
4棟	3世帯		4人		2人	
出火率(1万人当り)	1 件 平 均 損 害 額		1 件平均建物焼損面積		月 平 均 件 数	
約4.6	1,772.5千円		140.5㎡		約0.83件	

2. 年別火災状況（過去20年）

区分 年別	件 数						損 害 額（千 円）					
	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計
H17	6		1	1	3	11	17,644		383	11,160	26	29,213
H18	4		1		2	7	1,693		98		287	2,078
H19	9		1			10	16,021		35			16,056
H20	5		1	1	1	8	10,575		19	35	14	10,643
H21	2		2		1	5	100		1,570			1,670
H22	6				3	9	8,260				280	8,540
H23	4		1		5	10	1,742		200		273	2,215
H24	3	1	1		1	6	17,775					17,775
H25	4		1	1	7	13	5,022		30	150		5,202
H26	9	1				10	4,891					4,891
H27	4				2	6	27,473				174	27,647
H28	3				2	5	52				95	147
H29	3				4	7	1,666				1,021	2,687
H30	4		3			7	21,050		234			21,284
R1	5		3		8	16	25,179		870		2,453	28,502
R2	1	1	1		6	9	30,146		1,133		2	31,281
R3	1			1	3	5	4,790					4,790
R4					1	1						
R5	2				4	6	2,643				40,100	42,743
R6	4				6	10	17,754					17,754

3. 月別火災状況

月別 区分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
火災 件数	建物	1							1			1	1	4
	林野													
	車両													
	船舶													
	その他	2	1			1		1	1					6
	合計	3	1			1		1	1			1	1	10
損害 棟数	全焼	1							1			1		3
	半焼												1	1
	部分焼													
	ぼや													
	合計	1							1			1	1	4
焼損 面積	建物 (㎡)	250								38		110	164	562
	表面 (㎡)	0.24					13		1.5	1,150				1164.74
	林野 (㎡)													
死傷 者	死者											1	1	2
	負傷者													
罹災 世帯	全焼	1										1		2
	半焼												1	1
	部分焼													
	ぼや													
	合計	1										1	1	3
罹災者数		2										1	1	4
損害 額 (千円)	建物	7,519							3,698			1,979	4,558	17,754
	収容物													
	その他													
	小計	7,519							3,698			1,979	4,558	17,754
	林野													
	車両													
	船舶													
	その他													
	合計	7,519							3,698			1,979	4,558	17,754

4. 原因別火災状況

区分 原因別		火 災 種 別					合 計	損 害 額 (千円)	焼 損 面 積		死 傷 者	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他			建 物 (m^2)	林 野 (m^2)	死 者	負 傷 者
使用 火	煙突内の火源の漏れ	1					1	7,519	250			
	焼却行為後の処理不十分					1	1					
	放 火 の 疑 い					1	1					
	刈 草 焼 却					1	1					
電 気	トラッキング現象	1					1	3,698	38			
不 明		2				3	5	6,537	274		2	
合 計		4				6	10	17,754	562		2	

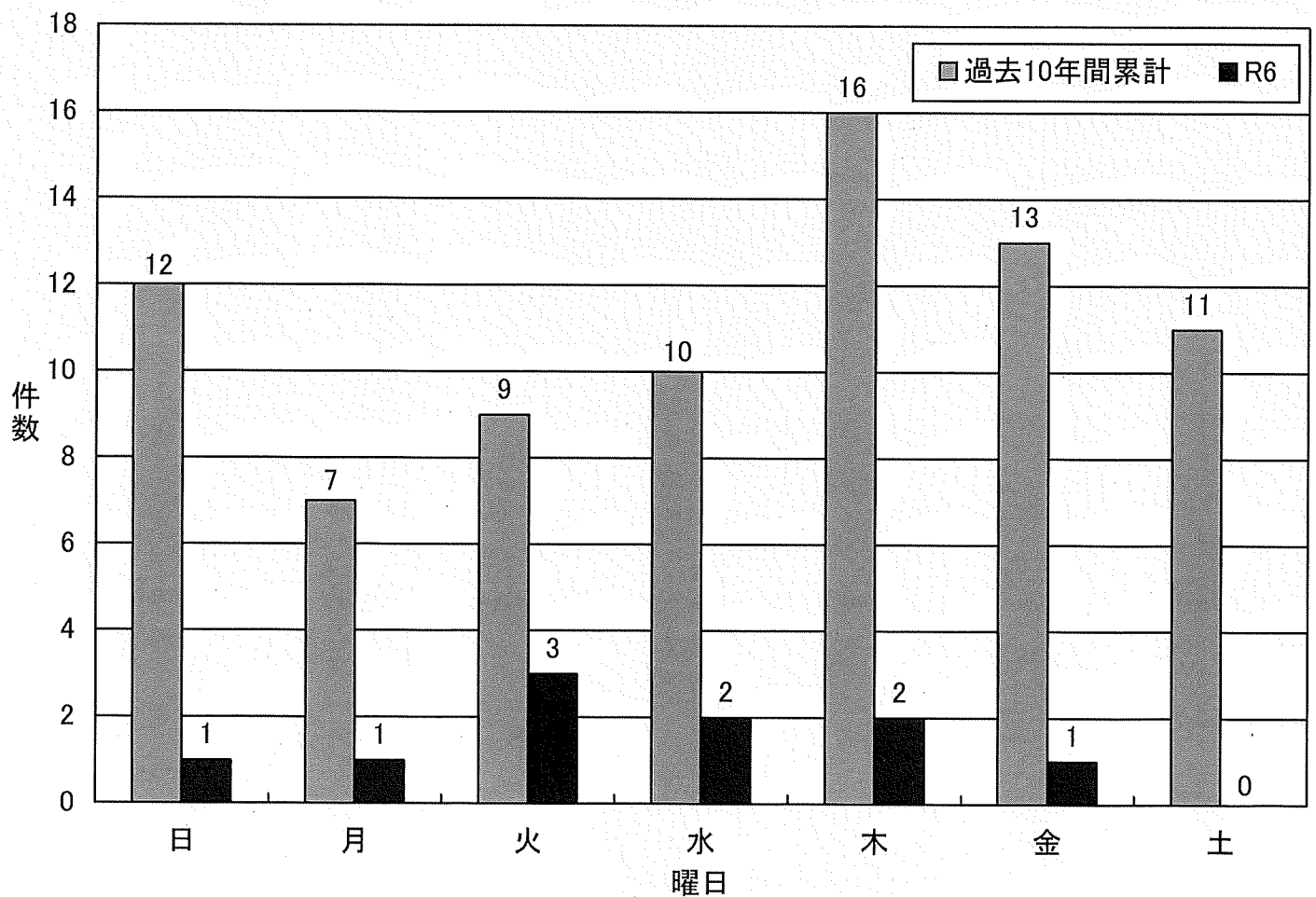
5. 損害別火災状況

月別 損害額別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
損害無し	1	1			1		1	1					6
1万円未満													
1万円以上													
10万円以上													
100万円以上											1		1
200万円以上													
300万円以上								1					1
400万円以上												1	1
500万円以上	1												1
1000万円以上													
2000万円以上													
合 計	3	1			1		1	2			1	1	10

6. 曜日別火災状況

曜日 月別	日	月	火	水	木	金	土	合 計
1	1			2				3
2					1			1
3								
4								
5					1			1
6								
7			1					1
8			1			1		2
9								
10								
11		1						1
12			1					1
合 計	1	1	3	2	2	1		10
損 害 額 (千円)		1,979	4,558	7,519		3,698		17,754

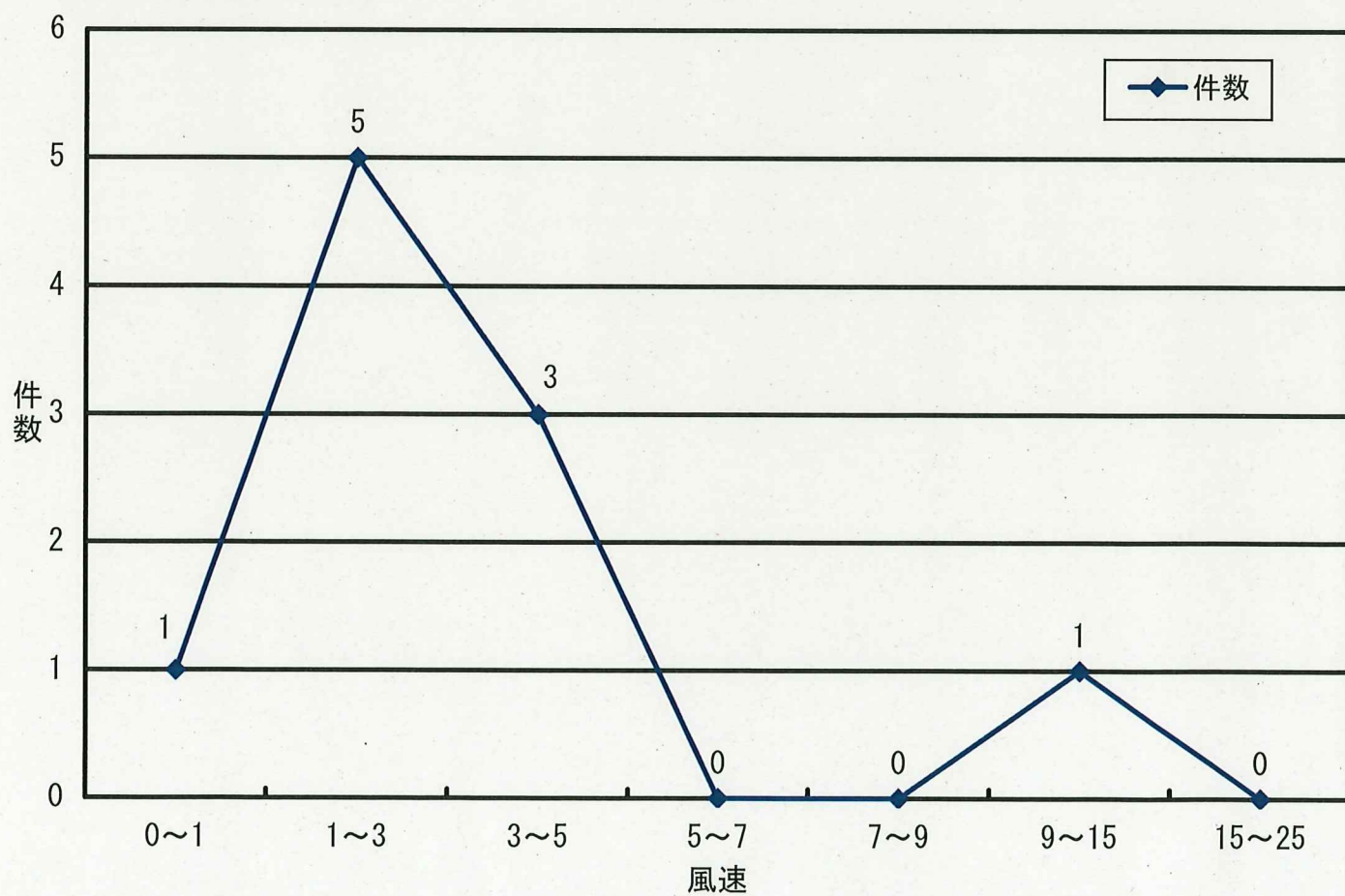
7. 曜日別火災状況グラフ



8. 風速別火災状況

風速別 (m)		件 数	損害額 (千円)	比率 (%)
静 穏	0 ~ 1未満	1	7,519	10
軽 風	1 ~ 3未満	5	6,537	50
軟 風	3 ~ 5未満	3	3,698	30
和 風	5 ~ 7未満			
疾 風	7 ~ 9未満			
強 風	9 ~ 15未満	1		10
烈 風	15 ~ 25未満			
合 計		10	17,754	100

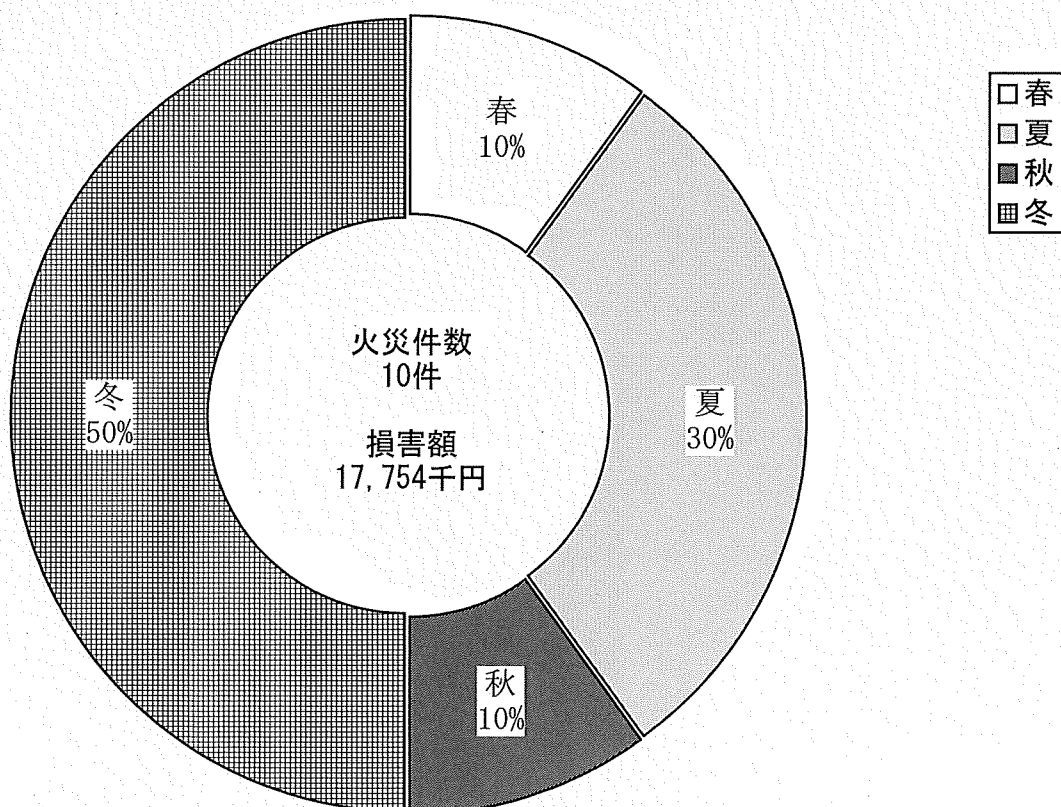
9. 風速別火災状況グラフ



10. 四季別火災状況（過去10年）

区分 年別	春(3～5月)		夏(6～8月)		秋(9～11月)		冬(12～2月)		合計
	件数	比率 (%)	件数	比率 (%)	件数	比率 (%)	件数	比率 (%)	
H27	1	16.7	1	16.7	2	33.3	2	33.3	6
H28	2	40.0	2	40.0	1	20.0	0	0.0	5
H29	1	14.3	2	28.6	1	14.3	3	42.8	7
H30	2	28.6	3	42.8	1	14.3	1	14.3	7
R1	7	43.7	6	37.5	1	6.3	2	12.5	16
R2	2	22.2	0	0.0	2	22.2	5	55.6	9
R3	2	40.0	1	20.0	1	20.0	1	20.0	5
R4	0	0.0	0	0.0	1	100	0	0.0	1
R5	1	16.7	0	0.0	3	50.0	2	33.3	6
R6	1	10.0	3	30.0	1	10.0	5	50.0	10
平均	1.9	23.22	1.8	21.56	1.4	29.04	2.1	26.18	

11. 四季別火災状況グラフ



1 2. 出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生状況

発火源

風呂かまどの火の粉	1
ライター	1
枯草焼き	1
接続器	1
不明	6
合 計	10

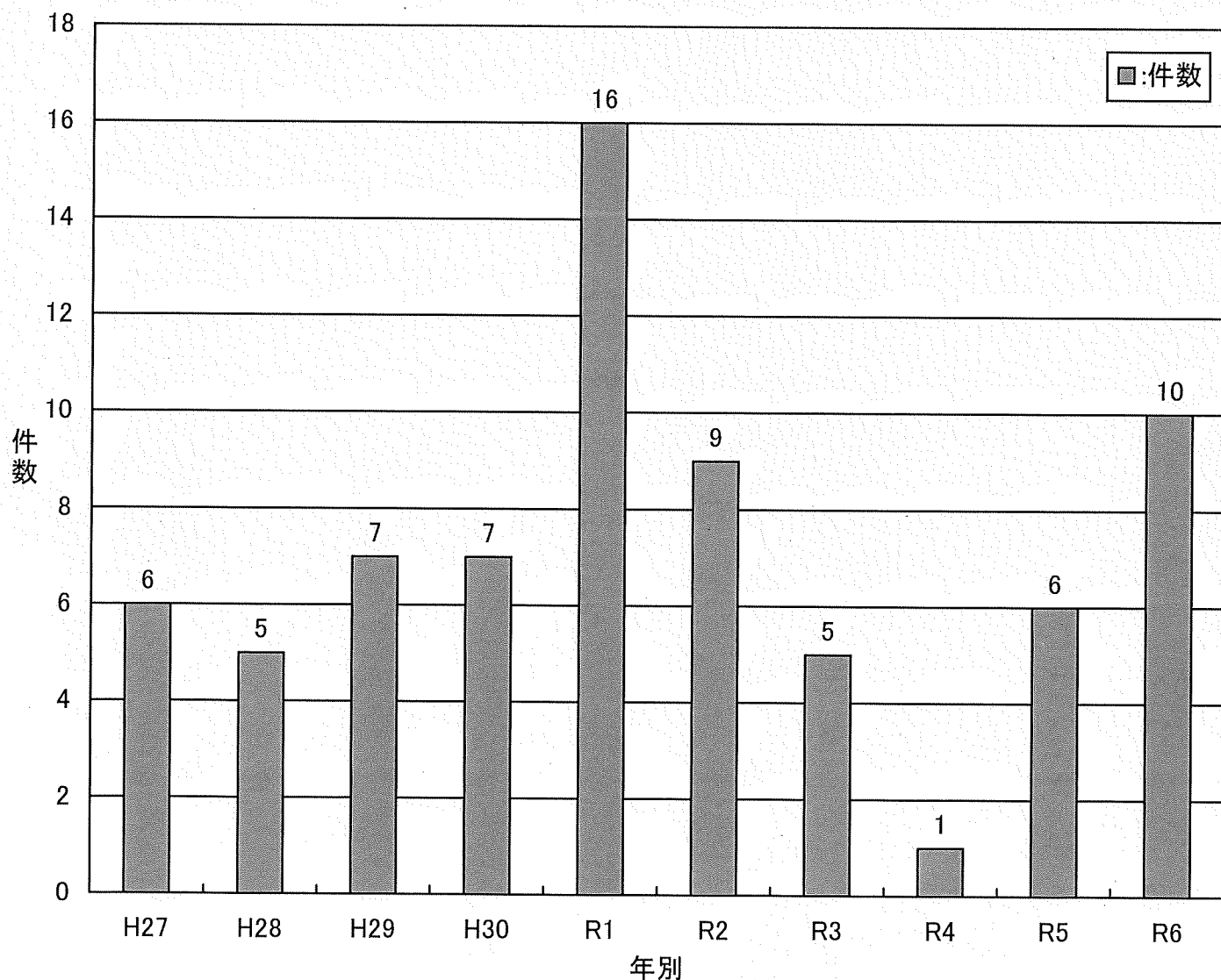
経 過

火源が漏洩する不明	1
残り火の処置が不十分	1
火源が動いて接触する	1
スパークする	1
不明	5
放火の疑い	1
合 計	10

着火物

屋根（軒板）	1
枯草	2
板張りベニヤ	1
その他	2
ゴミ類	1
落葉	1
不明	2
合 計	10

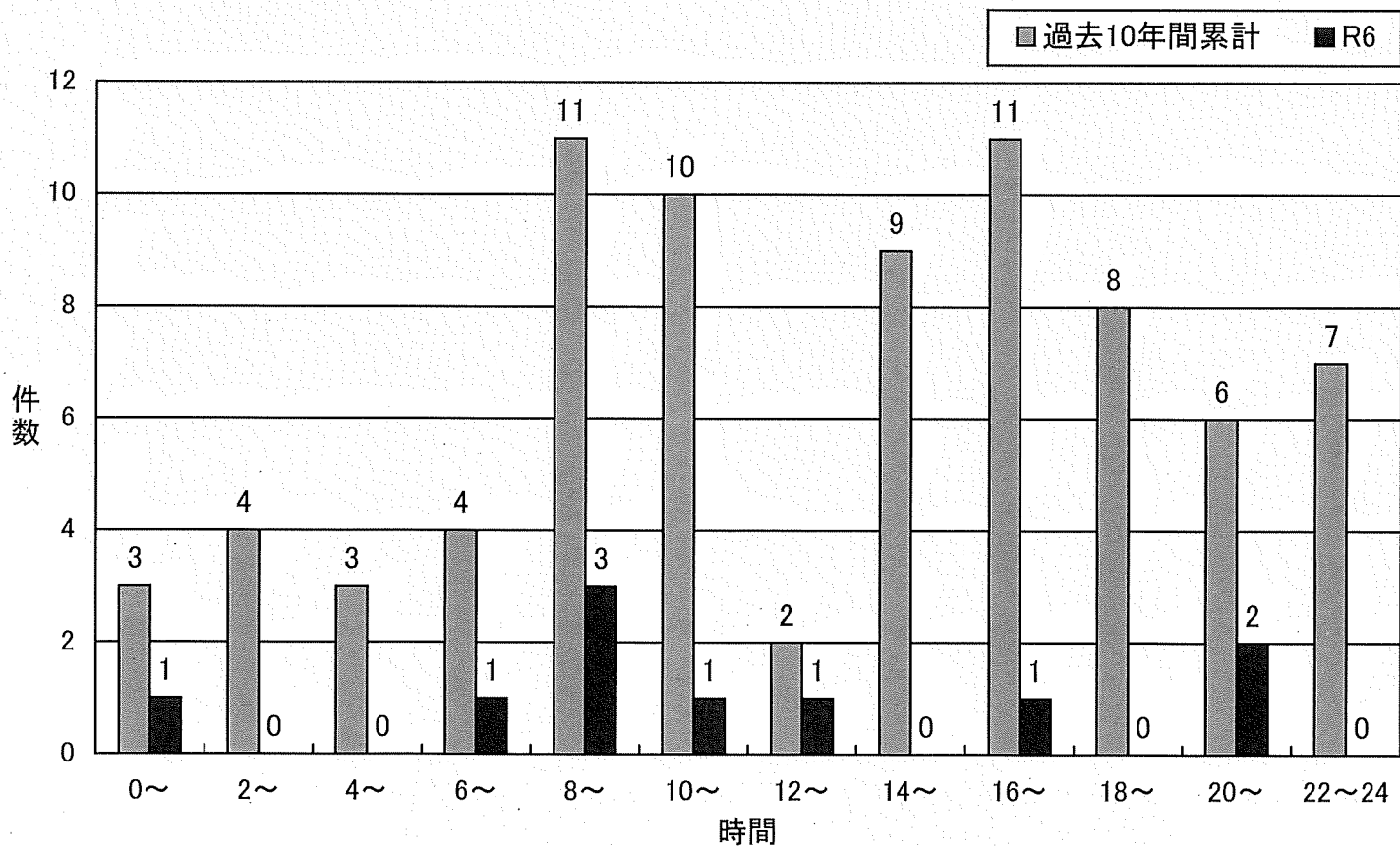
1 3. 年別火災状況グラフ



14. 時間別火災状況

区分 時間別	火 災 種 別						損害額	焼損面積	
	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合 計	(千円)	建物(m ²)	林野(a)
0～2	1					1	4,558	164	
2～4									
4～6									
6～8	1					1	3,698	38	
8～10					3	3			
10～12					1	1			
12～14	1					1	1,979	110	
14～16									
16～18					1	1			
18～20									
20～22	1				1	2	7,519	250	
22～24									
合 計	4				6	10	17,754	562	

15. 時間別火災状況グラフ



16. 分団別火災状況 (千円)

分団別 月別	第1分団		第2分団		第3分団		第4分団		第5分団		第6分団		その他		合 計	
	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
1			1	0	1	7,519	1	0							3	7,519
2			1	0											1	0
3																
4																
5											1	0			1	0
6																
7			1	0											1	0
8							2	3,698							2	3,698
9																
10																
11	1	1,979													1	1,979
12					1	4,558									1	4,558
合計	1	1,979	3	0	2	12,077	3	3,698			1	0			10	17,754

17. 年別・分団別火災状況

分団名 年別	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	その他	合 計
H27	1		3	1	1			6
H28	2		1	2				5
H29	1	2		3	1			7
H30		1	5	1				7
R1	2	6	2	5	1			16
R2	2	2		4		1		9
R3	1		3	1				5
R4		1						1
R5		1	3	2				6
R6	1	3	2	3		1		10
合計	10	16	19	22	3	2		72